

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書  
(平成24年度実績)

平成25年12月

播磨町教育委員会

## I 点検及び評価制度の概要

### 1 趣旨

平成20年4月1日付けで「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、同法により教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなりました。

このため、播磨町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の点検及び評価を実施するものです。

### 2 対象事業の考え方

本年度に実施する評価及び点検は、平成24年度予算に計上し、実施した主な事業を対象とします。(対象事業一覧表のとおり)

### 3 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の結果について、学識経験者3名から意見等を聴取しました。

#### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 対象事業一覧表

番号	事業	担当グループ
1	教育委員会委員活動事業	教育総務グループ
2	奨学基金積立事業	教育総務グループ
3	教育研究指導事業	学校教育グループ
4	児童生徒就学事務事業	学校教育グループ
5	教科専門指導教諭配置事業	学校教育グループ
6	外国人英語指導助手招致事業	学校教育グループ
7	子ども支援事業	学校教育グループ
8	特別支援教育推進事業	学校教育グループ
9	読書活動推進事業	学校教育グループ
10	小学校英語活動推進事業	学校教育グループ
11	情報リテラシーアドバイザー事業	学校教育グループ
12	小学校保健衛生事業	教育総務グループ
13	小学校給食事業	教育総務グループ
14	小学校施設維持管理事業	教育総務グループ
15	小学校運営用備品整備事業	教育総務グループ
16	交通安全街頭指導事業	教育総務グループ
17	小学校遊具整備改修事業	教育総務グループ
18	播磨小学校受電設備改修事業	教育総務グループ
19	蓮池小学校給食室改修事業	教育総務グループ
20	小学校施設非構造部材等耐震対策事業	教育総務グループ
21	小学校就学援助事業	教育総務グループ
22	小学校情報教育運営事業	学校教育グループ
23	小学校体験活動事業	学校教育グループ
24	中学校保健衛生事業	教育総務グループ
25	中学校施設維持管理事業	教育総務グループ

番号	事業	担当グループ
26	中学校運営用備品整備事業	教育総務グループ
27	中学校給食事業	教育総務グループ
28	播磨中学校受電設備改修事業	教育総務グループ
29	播磨南中学校外構施設等改修事業	教育総務グループ
30	中学校施設非構造部材等耐震対策事業	教育総務グループ
31	播磨南中学校屋内運動場大規模改造事業	教育総務グループ
32	中学校就学援助事業	教育総務グループ
33	「トライやる・ウィーク」事業	学校教育グループ
34	中学校情報教育運営事業	学校教育グループ
35	幼稚園保健衛生事業	教育総務グループ
36	幼稚園施設維持管理事業	教育総務グループ
37	幼稚園運営用備品整備事業	教育総務グループ
38	幼稚園遊具整備改修事業	教育総務グループ
39	幼稚園施設非構造部材等耐震対策事業	教育総務グループ
40	社会教育委員設置事業	生涯学習グループ
41	社会教育推進委員設置事業	生涯学習グループ
42	派遣社会教育主事設置事業	生涯学習グループ
43	ふれあい活動推進事業	生涯学習グループ
44	青少年育成事業	生涯学習グループ
45	成人式開催事業	生涯学習グループ
46	文化行事開催事業	生涯学習グループ
47	体育レクリエーション推進事業	生涯学習グループ
48	学校開放管理運営事業	生涯学習グループ
49	大中遺跡まつり事業	生涯学習グループ
50	地域スポーツクラブ支援事業	生涯学習グループ

番号	事業	担当グループ
51	スポーツ振興基本計画策定事業	生涯学習グループ
52	放課後子どもプラン事業	生涯学習グループ
53	学校支援地域本部事業	生涯学習グループ
54	男女共同参画行動計画策定事業	生涯学習グループ
55	家庭教育啓発事業	学校教育グループ
56	公民館管理運営事業	生涯学習グループ
57	コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習グループ
58	人権教育啓発事業	生涯学習グループ
59	人権教育研究事業	生涯学習グループ
60	文化財保護啓発事業	生涯学習グループ
61	文化財保護審議会運営事業	生涯学習グループ
62	まちの先覚者顕彰事業	生涯学習グループ
63	図書館管理運営事業	生涯学習グループ
64	図書館改修事業	生涯学習グループ
65	郷土資料館管理運営事業	生涯学習グループ
66	郷土資料館施設維持管理事業	生涯学習グループ
67	特別展開催事業	生涯学習グループ
68	スポーツ施設管理事業	生涯学習グループ
69	町民プール検討事業	生涯学習グループ
70	総合体育館改修事業	生涯学習グループ
71	新島球場改修事業	生涯学習グループ
72	浜田テニスコート改修事業	生涯学習グループ
73	蓮池小学校屋内運動場大規模改造事業	教育総務グループ
74	播磨南小学校屋内運動場大規模改造事業	教育総務グループ

### Ⅲ 点検及び評価

#### 歳出決算科目の節の内容

<b>報酬</b>	委員報酬等です。
<b>共済費</b>	報酬及び賃金等に係る社会保険料です。
<b>賃金</b>	労働の対価としてパートタイマー等に対して支払う経費です。
<b>報償費</b>	講師への謝礼等、サービスの提供によって受けた利益に対して支払う経費です。
<b>旅 費</b>	公務のために職員等が旅行するために要する経費です。
<b>需用費</b>	
消耗品費	文具、紙等の消耗品を購入する経費です。
燃料費	灯油、プロパンガス、自動車のガソリン等の燃料代です。
食糧費	各種会議用のお茶代等です。
印刷製本費	各種パンフレットの印刷や冊子などの製本に要する経費です。
光熱水費	電気、水道の使用料等です。
修繕料	備品の修繕、部品の取替え費用や建物の小修繕等に要する経費です。
<b>役務費</b>	郵便料や電話料のほか、サービスの提供を受けたことに対して支払う経費等です。
<b>委託料</b>	事務事業等を他の機関又は特定の者に委託して行わせる場合に支払う経費です。
<b>使用料及び 賃借料</b>	土地、建物等の不動産、あるいは自動車、機械類等の動産を借り上げる場合に要する経費です。
<b>工事請負費</b>	土地、工作物等の造成、又は製造及び改造の工事、工作物等の移転等の工事に要する経費です。
<b>原材料費</b>	砂、セメント、木材等、物品を生産するための原料又は材料を購入する経費です。
<b>備品購入費</b>	机、椅子等、形状又は性質を変更することなく比較的長期にわたって使用できる物品を購入する経費です。
<b>負担金、補助 及び交付金</b>	法令又は契約に基づいて負担しなければならない経費や、特定の事業や研究を補助するために支払う経費等です。
<b>扶助費</b>	法律や条例などに基づき、社会保障の一環として支払う経費です。
<b>積立金</b>	特定の目的のために資金を積み立てるために基金を設けるための経費です。

番号 1

事業名	教育委員会委員活動事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	教育振興基本計画	
	—	
	—	
	—	
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	—
	—	—
事業概要	教育行政の円滑な運営のため、教育委員会の事務事業について合議し、執行する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,904	1,867	1,954
24年度の主な歳出節別内訳	報酬	1,381	
	旅費	69	
	需用費	9	
	委託料	247	
	負担金補助及び交付金	248	

3. 活動指標

区分	22年度	23年度	24年度
定例会、臨時会開催数	13回	17回	16回
議案等審議件数	33件	36件	40件
学校園訪問等回数	36回	36回	20回
研修会参加回数	7回	5回	14回

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>学校園を訪問することで現状の把握に努めるとともに、上部組織の各種研修会に参加し、教育行政の諸課題について理解を深めることができた。また、定例会、臨時会において教育行政に係る重要事項を審議し、決定しているところである。このことにより、町教育行政の向上に寄与している。</p>
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 教育委員会は、法律に基づき町の教育行政の重要事項等を審議し、決定する機関であり、実施することは妥当な事業である。
	<b>【有効性】</b> 定例会、臨時会で重要事項を審議するほか、小学校、中学校、幼稚園の学校園を訪問し、現場の現状の把握に努めている。
	<b>【経済性・効率性】</b> 基本的に毎月1回開催する定例会において集中的に審議を行うことで、効率的な運営を心がけている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

教育委員会は、地方自治法で設置が義務付けられた執行機関であり、教育行政の重要事項を審議し、決定する機関であることから、継続して実施していかなければならない事業である。  
今後も町内の学校園の現状の把握に努めるとともに、教育委員会の一層の活性化を図る必要がある。

番号2

事業名	奨学基金積立事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	② 確かな学力の育成	
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	1 生涯学習の充実	各年代に応じた学習機会の充実
事業概要	経済的理由により修学が困難な者に対し、貸し付ける修学資金を奨学基金として積み立てを行う。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	11,880	10,683	7,010
24年度の主な歳出節別内訳	積立金 7,010		

3. 活動指標

①貸付人数等

		22年度		23年度		24年度	
		貸付人数	うち新規	貸付人数	うち新規	貸付人数	うち新規
高等学校等	国公立	3人	1人	3人	2人	3人	
	私立	2人		1人	1人	2人	
高等専門学校	国公立	1人					
	私立						
専修学校	国公立						
	私立	1人				1人	1人
各種学校							
短期大学		2人	2人	2人			
大学		33人	9人	36人	13人	45人	15人
合計		42人	12人	42人	16人	51人	17人

4. 成果指標等

事業の成果等について	経済的理由により修学が困難な者に対し奨学金を貸し付けることにより、高等学校・大学等への就学に寄与することができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 経済的理由により修学が困難な者に対して、町として奨学の方法を講じる必要があるとあり、進学を目指す学生への支援としては妥当な事業である。 しかし、近隣自治体の状況や他の制度の利用、貸付金の回収などから、貸付額の設定の検討が必要。
	<b>【有効性】</b> 進学者が安心して修学できていることから、期待した成果が得られていると考えており、有効な事業である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 資金は基金会計により運用さるべきだが、一般会計より繰り入れの状態が続いていることは、問題である。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

当該事業は、一般会計とは別に「奨学基金」といった独立採算的な会計で運営している。  
そのため、返済期限を迎えた者から定期的な返済が行われないと、新規に貸し付ける原資が確保できなくなり、当該事業の円滑な運営が困難になる。  
近年、各学校を卒業後、返済時期を迎えた奨学生が就業できないといった事案が発生し、加えて保護者の収入も伸び悩むといったことで、奨学金の返済の猶予又は滞納するといったケースが発生してきているため、基金の運用が円滑に行えないといった状況にある。そのため、当該奨学金のあり方について抜本的な検討を行い、見直していく。

番号 3

事業名	教育研究指導事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	2 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細かな取組を進める	
	(3) 信頼される教育環境	
	⑥ 教職員の資質向上	
	i 教師の指導力の向上	
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	教職員に対する研修
事業概要	研修会・研究会等を実施し、教職員の資質の向上を図るとともに、児童生徒の学習指導、生徒指導に役立てる。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,273	1,216	1,214
24年度の主な歳出節別内訳	報償費 975 需用費 127		

3. 活動指標

①教職員研修講座受講者数

	22年度	23年度	24年度
教育機器利用研修講座	67人	58人(保307人)	47名
生徒指導研修講座	37人	29人	62名
幼児教育研修講座	35人(1090人)	30人(保・幼1164人)	32名
若年教職員研修会	64人	51人	40名
中堅・ベテラン教職員研修講座	80人	39人	66名
教科研修講座	385人	408人(校内研)	543名
特別支援教育講座	307人	167人	268名
一般教育講座	132人	151人	175名

4. 成果指標等

事業の成果等について	播磨町教育振興基本計画や学校園教育充実計画に基づき、特別支援教育・不登校対策等、本町の教育課題に対応した適切な研修が実施できた。特に今日的な課題であるいじめや体罰問題などの効果的な研修を実施し教職員の資質・能力の向上を図る。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 社会変化に伴う多種多様化する教育環境や教育的ニーズに対応するため、教育委員会として教師としての倫理観や資質・指導力の向上を目指し、さらに信頼される学校づくりのため、研修の実施は教育委員会としての責務であり妥当な事業である。
	<b>【有効性】</b> 近年、ベテラン教職員の大量退職期を迎えており、学校力の低下が危惧される中、今日の教育課題に対応していくため、研修を通して一人一人の教師力を高め、学校としての組織力の向上を図ることができる。また、増加する若年者教職員へ指導技術や学校文化を継承することができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 各担当者会の研修と教育委員会の教育研究指導事業を可能な限り一本化することで、ニーズに応じた研修機会を設定でき、研修内容の充実と経費の節減を図っている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

小学校、中学校とも新学習指導要領が完全実施され、新学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、さらに教職員の資質向上に努めるとともに、研修内容や研修時期を検討し、より質の高い効果的な研修を計画する。特に、道徳教育や特別支援教育に係る研修を充実させたい。

## 番号4

事業名	児童生徒就学事務事業	担当 G	学校教育グループ
-----	------------	------	----------

## 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランス	
	④ 健やか体の育成	
	iii 生涯にわたる健康の基礎を培う学校保健の充実	
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育・・・
事業概要	児童生徒の就学に関する事務を行なう。	

## 2. 事業費及び財源内訳

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度
決 算 額	372	339	456
24年度の主な歳出節別内訳	報酬 18 需用費 44 委託料 196	備品購入費 118 負担金補助 24	

## 3. 活動指標

## ①入学児童生徒数

	22年度	23年度	24年度
播磨小学校	87人	72人	93
蓮池小学校	140人	110人	132
播磨西小学校	58人	44人	57
播磨南小学校	40人	45人	54
播磨中学校	205人	188人	212
播磨南中学校	158人	139人	129

## 4. 成果指標等

事業の成果等について	法に則り、適正に就学させている。
------------	------------------

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 小学校については、入学前に子どもの健康状態を把握し、必要に応じて受診をすすめることができる。
	<b>【有効性】</b> 入学前に、子ども達の実態を把握することで、子ども達への支援や就学指導がスムーズに行える。
	<b>【経済性・効率性】</b> 就学時検診を各学校で行うことにより、就学予定の子ども達を受け入れ側の教職員が観察でき、より早く実態把握ができ、効率的である。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

法に則り、今後も適正に就学指導及び、就学事務を行っていく。

番号 5

事業名	教科専門指導教諭配置事業	担当 G	学校教育グループ
-----	--------------	------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	② 確かな学力の育成	
	i 基礎的・基本的な学力の定着	
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	個に応じた指導の充実
事業概要	基礎的・基本的な内容の確実な定着や一人一人の個性や能力の伸長を図り、児童への行き届いた教育活動を展開するため、きめ細やかな指導補助教員を配置する。	

2. 事業費及び財源内訳

(単位：円)

区 分	22年度	23年度	24年度
決 算 額	22, 116	21, 866	22, 145
24年度の主な歳出節別内訳	賃金 19, 411 共済費 2, 734		

3. 活動指標

①学校別配置数

	22年度	23年度	24年度
播磨小学校	3名	2名	2人
蓮池小学校	3名	3名	3人
播磨西小学校	2名	2名	2人
播磨南小学校	2名	2名	2人

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>個に応じた習熟度別指導などよりきめ細やかな指導が定着しはじめ、基礎基本が身につく、学習意欲も高まっている。</p> <p>また、基礎学力の定着に加えて、組織的・継続的なきめ細やかな指導・声かけ等により、すべての子どもが学級の一員としての自覚をもって生活でき、算数科の基礎・基本の定着と学習意欲の向上が図れた。また、その成果が、中学校における学習面や生活面を支えているといえる。特に、きめ細かな対応をするなかで、一人一人に少しの成長や問題ができたことを褒める機会が増え、児童のやる気を高め、児童の今後の成長の元となる自己肯定感を高めることにつながった。</p> <p>(参考) 平成24年度の全国学力学習状況調査(抽出)の結果においても、算数A・数学A(主として知識)では全国平均を上回る結果であった。</p>
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 教科専門指導教諭が配置されることで、少人数指導や複数指導が効果的に行え、きめ細かな指導ができるようになっている。何より、学力差のある子どもに対応するためには人的な加配が必要である。
	<b>【有効性】</b> 教科専門指導教諭が配置されることで、子ども達のつまずきに対応した指導を行うことができている。また、複数指導を通して、生徒理解も深まり適切な個別指導を行うことで、授業中に達成感を味あわせることができ、算数に対する学習意欲が向上する。
	<b>【経済性・効率性】</b> 年間の総勤務時間を設定しその範囲内で勤務を行うことで、児童の長期休業中などに勤務日の設定を少なくすることができ効率的である。さらに、小学生対象の事業であるが、小学校で身につけた学習に対する意欲的な態度や授業中の達成感が中学校へも波及している。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

児童へのきめ細かな教科指導を行うことで、基礎基本の定着、学習に対する興味・関心を高めるだけでなく、定着した知識を活用する力を身につけさせる必要がある。また、学習面で子どもたちの自己肯定感、やる気を向上させるとともに、日常の生活場面でも、よりきめ細かく児童を見守ることで安心して学校生活を送ることができるようにしたい。さらに、本事業が中学校へ進学した後にも子どもに学習面、生活面ともに良い影響を与えていると考えられるため、播磨町教育振興基本計画に則り、教科専門指導教諭の配置を継続したい。

## 番号6

事業名	外国人英語指導助手招致事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	---------------	--------	----------

## 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	③ 豊かな心の育成	
	vi 他文化理解を深める国際理解教育の推進	
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の推進
事業概要	中学生の語学力の向上、国際理解、教師の語学力向上のため、中学校に外国人の英語指導助手を招致する。	

## 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	9,729	9,956	9,857
24年度の主な歳出節別内訳	報酬	7,203	
	共済費	1,031	
	使用料及び賃借料	1,055	

## 3. 活動指標

①1週間あたりの授業時数

	22年度	23年度	24年度
播磨中学校	20時間	18時間	18時間
播磨南中学校	21時間	21時間	22時間

## 4. 成果指標等

事業の成果等について	生徒の英語に対する関心が高まり、ALTと積極的にコミュニケーションをとろうとするなど意欲をもって学習に取り組めるようになっている。また、英語の授業のみならず、休み時間、放課後、清掃時間等でふれあうことにより、国際理解教育としても有意義である。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 新学習指導要領においても言語活動の充実が教育の重要課題の一つに挙げられおり、国際化の中、「話せる英語力」を培うことは急務であり、そのためには生きた英語に接することは大切である。
	<b>【有効性】</b> 英語の授業だけでなく、学校生活において外国人と接する機会を増やせる事業であり、国際理解や異文化理解に有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> JETに関しては、国の地方交付税による補助があるため、効率的である。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

各中学校に1名という配置であり、英語の時間の一部分しかまかなえていないが、中学校の学習内容から考え、当面、現状で継続する。

また、国際化する世界で活躍する日本人の育成の観点や、英語力向上に対する社会からの要請もあり、今後もますます重要になる事業である。さらに、小学校の「外国語活動」の必修化を踏まえ、中学校の英語学習へのスムーズな接続からも必要であると考え。

## 番号7

事業名	子ども支援事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	---------	--------	----------

## 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成		
	③ 豊かな心の育成		
	ii 児童生徒の自己実現への支援		
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	個に応じた指導の充実	
事業概要	引きこもりや不登校児童生徒の自立支援及び学校復帰を目指し、家庭・学校・ふれあいルームをはじめとした関係機関が連携することにより、複雑多様化した不登校問題に対応し改善を図る。		

## 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	12,866 (学校教育G賃金 12,779)	12,951 (学校教育G賃金 12,676)	12,801 (学校教育G賃金 12,530)
24年度の主な歳出節別内訳	賃金 12,530		

## 3. 活動指標

## ①相談延回数

	22年度	23年度	24年度
ふれあいルーム(利用者)	336人	596人	409人
電話	22回	19回	13回
面接	39回	26回	25回

## 4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>不登校相談の窓口をふれあいルーム(適応指導教室)に一本化し、福祉グループや町内外関係機関との連携を強化した。また、ふれあいルームを中核に据え、不登校児童生徒数の減少に向け、校種間連携を図った。</p> <p>さらに、小中学校にスクールアシスタントを各校1名配置することで、特別な支援がいる児童生徒、不登校や問題行動への対応等を担任と連携をすることできめ細かい指導をすることができた。</p>
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 発達障害や不登校、家庭崩壊など支援の必要な児童・生徒が増える中、一人ひとりに対応できるようにするとともに、それぞれの居場所を確保し、学校復帰を促す取組はぜひとも必要である。
	<b>【有効性】</b> 多感な時期の児童生徒の居場所を確保し、自立支援のために、個人のニーズにあった取組ができるなど個に応じたきめ細かな指導が展開できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> ふれあいルームを中核に据え、町単費の嘱託員やスクールアシスタント、また県費のスクールカウンセラーや不登校担当教員等と効果的な連携を図り、月1回の不登校担当者会では情報を共有化し、町として組織的に取り組んでいる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

支援の必要な理由が、発達障害者の増加や家庭崩壊、養育放棄件数の増加など広範囲になっている。今後も、幼児期からの早期対応、校種間連携、関係機関との連携、家庭教育の啓発など、さらに強化し不登校児童生徒ゼロを目指したい。

特に適切な支援をし、集団生活を通じた指導やコミュニケーション力を育てることが、児童生徒の社会的自立へつながる。不登校児童生徒のみならず、家庭の教育力の低下により、自立支援の必要な子どもに対してきめ細かい対応をするために、今後も続けていきたい。

## 番号 8

事業名	特別支援教育総合推進事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	--------------	--------	----------

## 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	2 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細かな取組を進める		
	(3) 信頼される教育環境		
	⑦ 特別支援教育の充実		
	i ニーズに応じた教育支援を目指す特別支援教育の推進		
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	個に応じた指導の充実	
事業概要	<p>特別支援教育は、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うものである。</p> <p>特別支援学級における児童生徒の障害の重複化・多様化や、通常学級の中で、発達障害により学習や生活の面で特別な教育的支援を必要としている児童生徒に対して適切な指導及び必要な支援を行うことなどが、今日的な課題である。</p> <p>このような状況の下、すべての障害のある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加に向けた指導・支援の充実・改善を図るための実践研究を実施し、その成果を普及するなど、特別支援教育の体制整備を推進する。</p>		

## 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	78	92	91
24年度の主な歳出節別内訳	旅費 12 需用費 79		

## 3. 活動指標

巡回相談、関係機関等との連携状況

	22年度	23年度	24年度
就学サポート委員会の開催回数	2回	2回	2回
教育委員会が主体となって実施した相談回数	17回	15回	35回
専門機関に依頼あるいは連携して実施した相談回数	43回	69回	70回
特別支援教育コーディネーターネットワーク会議の回数	3回	5回	7回

#### 4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>各関係機関とのネットワークが構築され、関係機関と学校園との連携、就学に関して保幼小の連携体制等が整ってきた。縦横の支援方法について認識が深まり、共通理解が以前よりも進んだ。県立東はりま特別支援学校のセンター校的機能として、播磨町との連携がより強化されたことが大きな成果である。今後は、保育園を含めた連携体制をさらに整備する必要がある。</p> <p>各校園への訪問相談も回数を重ね、担当職員の指導力・支援方法が向上している。子どもの実態把握に基づく、より適切な指導・支援法を確立させるためにも、さらなる研修の機会を設けることが必要である。</p> <p>また、子どもの支援を行うとともに、親支援も必要であり、その支援方法についても検討する必要がある。</p>
------------	--

#### 5. 評価

事業評価について	<p><b>【妥当性】</b> 教育基本法第4条の「教育の機会均等」等の原則を実施する上からも必要な事業である。特に、幼児期より、発達障害等の特別なニーズが必要な子どもを把握し、支援を行うことで社会への適応能力を伸ばすことができる。</p>
	<p><b>【有効性】</b> できるだけ早い時期に実態把握をすることにより、実態に即した支援方法を検討することができ、適切な対応を行うことができる。適切な就学指導にもつながる。</p>
	<p><b>【経済性・効率性】</b> 県立東はりま特別支援学校コーディネーターやひょうご発達障害者支援センタークローバー相談支援員と共に、教育委員会事務局指導主事や、すこやか環境グループの療育担当者が訪問し、連携を取り合うことで、特別な支援の必要な子どもの実態把握がしやすく早急に対応できるようになっている。学校園での適切な指導・支援への助言をいただき、きめ細やかな対応に生かすことができるようになってきている。</p>
	<p><b>【その他】</b> 今まで、幼稚園「介助員」としていたが、その職務の内容から「支援員」へ名称を変えたことにより、小中学校で配置の「介助員」との混乱はなくなっている。</p>

#### 6. 今後の方向性等

<p>幼稚園・保育園や学校内での特別支援教育体制が充実してきた。</p> <p>今後は、学校間や各校種間のコーディネーター、特別支援教育担当者の連携をさらに密にし、播磨町全体で特別支援教育のさらなる充実に取り組む。</p> <p>また、校園内では、全職員が、より適切な保育・授業・指導方法・支援方法等の対応が出来るよう、取り組みたい。</p>
---

番号9

事業名	読書活動推進事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	2 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細かな取組を進める	
	(3) 信頼される教育環境の構築	
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備	
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備	
事業概要	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備
豊かな感性の涵養と読む力を育成するため、蔵書の充実を図るとともに蔵書のデータベース化等、検索機能の業務委託を行う。また、播磨町立図書館との連携を図る。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	6,852	3,635	3,672
23年度の主な歳出節別内訳	需用費 108 委託料 315 備品購入費 3,249		

3. 活動指標

①蔵書数

	22年度	23年度	24年度	達成率1(%)	達成率2(%)
播磨小学校	7,546冊	7,865冊	8,437冊	77.0	114.0
蓮池小学校	7,936冊	8,316冊	7,909冊	65.0	90.6
播磨西小学校	5,781冊	6,112冊	6,433冊	73.4	100.6
播磨南小学校	6,060冊	6,340冊	6,309冊	79.3	110.9
播磨中学校	7,723冊	8,106冊	8,460冊	62.1	63.4
播磨南中学校	7,813冊	8,215冊	8,443冊	69.4	75.5

※蔵書数は図書館にある蔵書の冊数、達成率1は学校図書館図書標準に対する達成率で、達成率2は、学級文庫まで含んだ蔵書数での達成率を示す。

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>分析データによる計画的な図書の購入ができています。町立図書館との連携体制もできており、選書に関して助言をもらい、購入本を決めた学校もある。</p> <p>また、ブックキャラバンを実施した学校では、生徒自身で自分の読みたい本を選び購入できたことが、読書に対する意欲、興味・関心を高めることにつながっている。図書室の利用も増えている。</p> <p>より有効な図書室活用を推進するために、傷みの激しい本や新学習指導要領の内容に合致しない本等、計画的な廃棄処分にも取り組んでいる。図書室から廃棄とした図書は、捨てるのではなく学級文庫として活用していく。</p>
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<p><b>【妥当性】</b>            新学習指導要領の改訂でも、読書に親しむ態度の育成が求められている。情報メディアの発達により、大量の情報が簡単にかつ瞬時に入手できるようになってきた反面、活字離れが懸念されるようになり、学習活動での読む力にも影響を及ぼしている。そこで児童生徒が活字に触れる機会を増やし、豊かな感性を育むとともに基礎学力としての読む力を身につけさせる必要がある。</p>
	<p><b>【有効性】</b>            担当者や学校支援ボランティア等による環境整備により、子どもたちの読書の機会を増やすことができた。また、播磨町立図書館の協力を得て、選書においては、子どもたちのニーズや教科指導用資料に即した蔵書をそろえることができた。学校へ出向いて、読み聞かせ・ブックトーク・調べ学習についての話なども実施し、子ども達の図書への楽しみ・図書館への親しみが深まっている。図書室の学習資料としての活用ができる。</p>
	<p><b>【経済性・効率性】</b>            蔵書のデータベース化を行うことにより、計画的に図書の購入が行えた。図書のフィルムコーティングやバーコードの添付が終了した状態での納品となるので、経済的かつ効率的である。</p>
	<p><b>【その他】</b></p>

## 6. 今後の方向性等

読書活動のみにとどまらず、他教科での調べ活動にも積極的に図書室を利用し学習活動全般で活字に触れる機会が増加してきた。今後は、蔵書の充実を図るとともに、町立図書館との連携をより一層強め、本好きな子を増やすと同時に、自ら調べ学習に取り組む姿勢を培いたい。また、学校支援ボランティア等の協力を得て、読み聞かせや蔵書点検を始め、図書室の環境整備を充実させたい。

蔵書数達成率が、小学校平均73.7%、中学校平均65.8%と、まだまだ低い現状である。蔵書数を増やすために、平成24年度から始まった国の「学校図書館図書整備5カ年計画」を活用するなど、備品購入費増額の検討が必要である。

番号 10

事業名	小学校英語活動推進事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	-------------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	③ 豊かな心の育成	
	vi 他文化理解を深める国際理解教育の推進	
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の推進
事業概要	23年度から完全実施された新学習指導要領(小学校)により、小学校5・6年生においては、外国人講師による「外国語活動」の授業を年間35時間実施している。また、国際人として必要な基礎的資質を養うため、小学校3・4年生においては、総合的な学習の時間を利用して、週1回外国人講師による「国際理解教育」を行う	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	8,925	8,925	8,925
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 8,925		

### 3. 活動指標

① 1週間あたりの授業時数 (3年生以上は各クラス1週間に1時間)

	22年度	23年度	24年度
播磨小学校	12時間	12時間	12時間
蓮池小学校	18時間	16時間	16時間
播磨西小学校	9時間	6時間	8時間
播磨南小学校	8時間	8時間	6時間

※小学校1・2年生は、各学期に1～2回程度、外国人講師による英語活動を行う。

※幼稚園(年長園児)は、年間11回、外国人講師による国際理解教育レッスンを行う。

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	外国人講師が終日勤務することにより、授業のみならず生活面でも国際理解が図れた。また、年を経るにつれ児童や教師の取り組みに積極性が出てきた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<p><b>【妥当性】</b></p> <p>新学習指導要領(小学校)では、高学年において英語活動の授業時数がそれぞれ年間35時間確保されている。播磨町では、平成18年度から本事業を実施しており、国際人として必要な資質の育成に先鞭をつけていることの意義は大きく、妥当な事業といえる。また、新学習指導要領の目標を達成するためにも必要不可欠である。</p>
	<p><b>【有効性】</b></p> <p>新学習指導要領の英語活動の目標は、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーションの素地を養うとなっている。本事業は、2人のALT が英語活動を通して積極的に児童と関わり、児童たちも英語やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとろうとする意欲が年々高まっており、本事業の有効性は高い。</p> <p>小学校のみではなく、幼稚園5歳児クラスに年間11回のレッスンを取り入れ外国語に触れることで、子ども達に国際的な感覚を養う素地となっている。</p>
	<p><b>【経済性・効率性】</b></p> <p>委託により、一定のレベルに達しているALTが中心になって語学活動を行い、週2～3日は各学校に常駐できることは、町単独でのALT採用よりも効率的かつ経済的である。</p> <p>また、5・6年生の外国語活動だけでなく、3・4年生の国際理解教育も時間割に組み込んであり、1・2年生は学期に1～2回の活動を行っている。特別支援学級でのレッスンを計画できる学校もある。</p> <p>さらに、夏期休業中には、全小学校教員対象の外国語活動研修や、幼稚園5歳児～小学校2年生対象の子ども英語教室も実施しており、コストパフォーマンスは高いといえる。</p>
	<p><b>【その他】</b></p>

## 6. 今後の方向性等

小学校に外国語活動が導入され、教育改革のなかで英語力の向上が重視されている。また、国際化する世界で活躍する日本人の育成の観点や英語力向上に対する社会からの要請もあり、今後もますます重要になる事業であるため、今までの成果と課題を見直し今後も実施していきたい。特に、幼稚園での活動や、小学校1年生から4年生の国際理解教育は、外国語を学ぶ上で基本的な体験になるので継続したい。

番号 11

事業名	情報リテラシーアドバイザー 事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	---------------------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成		
	③ 豊かな心の育成		
	ix 情報化社会に対応できる情報教育の推進		
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	学校教育にコンピューターネットワークを導入し、情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、情報発信や知的情報資源へのアクセスなどを児童・生徒が積極的に活用していく実践教育を継続的に実施する。		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	3,661	3,936	3,767
24年度の主な歳出節別内訳	賃金 3,767		

### 3. 活動指標

#### ① 情報リテラシーアドバイザー活動件数

	22年度	23年度	24年度
播磨小学校	105件	78件	55
蓮池小学校	68件	58件	59
播磨西小学校	77件	86件	56
播磨南小学校	48件	73件	63
播磨中学校	92件	73件	46
播磨南中学校	63件	47件	69

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	教師の情報リテラシー教育の指導力向上につながり、教師のICT活用能力が高まった。また、環境整備を始め、トラブル発生時に迅速に対応でき、各学校でのICT機器活用の利便性がよくなった。各学校の情報セキュリティレベルが向上した。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校現場では、情報リテラシー教育を段階的・系統的に指導できる体制は十分とはいえない。そこで、学校の指導体制、教師の情報リテラシー教育の力量を高めるために必要である。さらに、各学校にシステム管理者としての職務を担当する資格をもった教師はならず、情報教育担当の教師が各種設定や障害対策を行っている現状があり、町教委として、学校をサポートする支援員を配置する必要性がある。
	<b>【有効性】</b> 教育委員会・各学校としては、様々な情報教育に関する研修をすでに実施しているが、情報教育アドバイザーを学校へ派遣し、その時々における課題解決へのアドバイスを受けることで、教師の力量アップが図れる。また、障害対策や各種設定業務も行うことで、学校の情報化の推進に大きく貢献した。
	<b>【経済性・効率性】</b> 教師の校務における情報機器の操作や児童生徒に対する指導の場面の機器操作で様々なトラブルに見舞われることが多い。その際、トラブルに対して迅速に対応できる体制ができ、修理にかかる時間短縮、修理費の削減にもつながった。
	<b>【その他】</b> 緊急雇用対策事業のため平成23年度までの事業であるが、今後も引き続き実施をしたい。

## 6. 今後の方向性等

今後も、各学校園のICT環境はさらに、整備されていくと考えられる。情報機器の場合はハードの充実とともに、ソフトウェアの整備がかかせない。教育委員会として、ハード・ソフト以上に各学校園に対するサポート体制をより充実する必要がある。特に、校務用LANのセキュリティー向上に寄与し、播磨町教育総合サイトの開設に伴う維持管理業務によるICT連絡網の充実を進めると共にアドバイザーが軽微なネットワーク設定及び修繕を行うことで、修繕費の節約につながったことを勘案すると緊急雇用対策事業終了後も、引き続き事業を継続することは必要不可欠である。

号 1 2

事業名	小学校保健衛生事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	③ 健やかな体の育成	
	iii 生涯にわたる健康の基礎を培う学校保健の充実	
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の推進
事業概要	児童及び教職員を対象に学校保健安全法の規定に基づく健康診断を実施し、健康の保持及び増進を図る。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度	
決算額	12,334	12,037	11,645	
24年度の主な歳出節別内訳	報償費	6,615	負担金補助	38
	需用費	374		
	委託料	4,364		
	使用料及び賃借料	263		

3. 活動指標

①各種検診受診状況

		22年度	23年度	24年度
胸部結核検診		3人	3人	1人
腎臓検診	1次検尿	2,051人	2,015人	1,968人
	2次検尿	140人	220人	223人
糖尿病検診	1次検診	2,051人	2,015人	1,968人
	2次検診	1人	0人	0人
ぎょう虫卵検診		1,003人	951人	914人
心臓検診	1次検診	654人	698人	630人
	2次検診	364人	362人	312人
	精密検診	28人	27人	26人
脊柱側弯症検診	1次検診	334人	346人	396人
	2次検診	16人	17人	27人

4. 成果指標等

事業の成果等について	学校保健安全法の規定に基づく健康診断の検査を実施したことにより、児童及び教職員の健康保持及び増進が図られた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法において児童及び教職員への健康診断の実施の義務が規定されている。
	<b>【有効性】</b> 児童及び教職員の健康状態の確認及び早期発見を目指し健康診断を実施することは、健康の保持及び増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果を確保するために有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 健康診断の委託先は財団法人加古川総合保健センターであり、委託料は一市二町(加古川市・稲美町・播磨町)同額であることから、適正な単価で実施できている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

当該事業は法律で義務付けられていることから、このまま継続する必要がある。

番号 13

事業名	小学校給食事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	---------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成		
	③ 健やかな体の育成		
	iii 生涯にわたる健康の基礎を培う学校保健の充実		
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1	学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実		「生きる力」を育む特色ある教育の推進
事業概要	全小学校の児童に対し、単独校調理方式で完全給食を実施し、食事についての正しい理解と食事を通じて好ましい人間関係を育成するとともに、児童の健康保持及び増進を図る。		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	7,101 (小学校給食員に要する職員賃金) 12,691	6,726 (小学校給食員に要する職員賃金) 13,088	6,783 (小学校給食員に要する職員賃金) 14,231
24年度の主な歳出節別内訳	需用費 2,206 委託料 670 備品購入費 3,799 負担金補助 40		

### 3. 活動指標

#### ① 小学校給食

	22年度	23年度	24年度
小学校給食実施日数	188日	187日	192日

#### ② 給食調理員職員数

	22年度	23年度	24年度
正職員数	10人	9人	9人
嘱託職員	0人	0人	0人
パート	16人	17人	17人

#### ③ 給食調理員（正職員）給与費

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
2 給料	35,678,686	32,305,200	32,512,287
3 職員手当等	14,182,409	12,799,133	12,600,758
4 共済費	11,517,911	10,818,983	10,615,912
計	61,379,006	55,923,316	55,728,957

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	町立の4小学校の児童に対し、単独調理方式で完全給食を実施し、健康の保持及び増進を図ることができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 小学校での学校給食は、児童の心身の健全な発達に資し、かつ、食生活の改善に寄与するために学校教育の一環として実施するものであり、特に衛生的で安全な学校給食を提供するために当該事業を実施することは妥当である。
	<b>【有効性】</b> 衛生管理の徹底により食中毒を防止し、安心かつ安全な学校給食を提供することが可能である。また、発達段階に応じた食育の推進が図れる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 効率性の向上を目的として、調理機器等の更新を行っている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

給食用施設並びに各種厨房機器の経年劣化が著しく進んでおり、計画的に改善を図る必要がある。  
また、給食調理業務においても正規職員の調理員の高齢化が進展するとともに、定年退職後の調理員の補充は正規職員での任用を全く行っていないことから、今後は設備・人員・直営又は委託等を含めた抜本的な検討を行う必要がある。

番号14

事業名	小学校施設維持管理事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-------------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
円滑な学校運営を推進するため、小学校施設の適切な維持管理と学校内の保全を行う。			

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	37,377	38,507	36,661
24年度の主な歳出節別内訳	需用費	29,239	
	役務費	1,001	
	委託料	2,855	
	工事請負費	3,069	
	原材料費	497	

### 3. 活動指標

①燃料費・光熱水費の推移

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
電気料金	11,366,198	10,552,956	10,398,371
水道料金	11,278,850	11,464,630	11,560,080
ガス料金	2,629,431	2,728,026	2,917,488

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	円滑な学校の運営が推進できたとともに施設の適切な維持管理、学校内の保全を行うことができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校教育法の規定に基づき、学校施設の維持、管理、運営を行う必要がある。
	<b>【有効性】</b> 各種学校施設の経年劣化に伴い、適切な維持補修を実施することにより、建物の良好な維持管理、教育環境の整備、職員の健康保持、耐用年数等の増加を図ることができるとともに、将来の経費を節減することができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 緊急性の高いものから順次、計画的な整備に取り組んでいる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

4小学校の校舎、屋内運動場及びプール等の主要施設は、建築後数十年経過し、老朽化が著しく進行している。  
そのため、今後は計画的に「大規模改修工事」を実施していく必要がある一方で、突発的に緊急を要する工事も多発するため、大規模工事に対応する職員とは別途に維持補修業務に従事する技術職員が必要である。

番号 15

事業名	小学校運営用備品整備事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(3) 信頼される教育環境の構築	
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備	
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備	
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備
事業概要 小学校運営用備品の整備等を行い、教育内容を充実し、児童の学習効果をあげる。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	3,184	5,877	5,416
24年度の主な歳出節別内訳	備品購入費 5,416		

3. 活動指標

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
備品購入費	3,184,370	5,876,484	5,415,537

4. 成果指標等

事業の成果等について	日常の学校運営に必要な机・椅子等の備品を的確に整備したことで、児童が良好な環境のもとに教育が受けられるようになった。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校運営を円滑に行うためには印刷機、机、椅子、ロッカー等の備品は必要不可欠であり、そのような備品を更新または新規に整備することはより良い教育環境を整備することからも妥当である。 また、各校の日常業務で使用している校務用パソコンが老朽化していたことから更新を図る必要があった。
	<b>【有効性】</b> 備品の整備は、各校から提出されたリストによる優先順位をもって実施しており、必要な場合は備品の状態等も現地で確認していることから、有効な整備ができています。 加えて、日常業務で使用している校務用パソコンの更新が実施され、作業効率が改善しました。
	<b>【経済性・効率性】</b> 学校からの要望を予算の範囲内で精査し、優先順位を決めて計画的に整備を進めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

良好な教育環境を持続していくためにも、計画的な備品の整備は今後も引き続き必要である。  
整備方法については、今後の児童数の動向を踏まえ、限定された予算内において、必要性・緊急性及び適正な規格等を考慮しながら順次整備を実施していく。

番号 16

事業名	交通安全街頭指導事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	------------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	2 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細かな取組を進める	
	(3) 信頼される教育環境の構築	
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備	
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備	
事業概要	基本目標 2 やすらぎがあり、健やか…	2 安全・安心対策の充実したまちをつくる
	1 交通安全対策の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備
通学路における危険箇所街頭指導員を配置することにより、児童等の登下校時における交通安全の確保を図る。		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	11,619	11,124	12,105
24年度の主な歳出節別内訳	報酬 12,022 需用費 83		

### 3. 活動指標

#### ①校區別街頭指導員数

	22年度	23年度	24年度
播磨小学校区	7人	7人	7人
蓮池小学校区	5人	5人	5人
播磨西小学校区	2人	2人	2人
播磨南小学校区	2人	2人	3人
合計	16人	16人	17人

#### ②街頭指導日数

	21年度	22年度	23年度
活動日数	198日	196日	204日

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	交通安全街頭指導員を17名、4小学校の通学路の各所に配置したことにより、児童生徒等の登下校時における交通安全の確保が図られたとともに、日々の「あいさつ」の励行や見守り活動の実施で、地域コミュニティの醸成にも大きく寄与した。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 町内で交通事故が多発する中、登下校時における児童生徒等の交通の安全を確保する上で、通学路に交通安全街頭指導員を配置することは妥当である。
	<b>【有効性】</b> 登下校時の通学路において交通整理及び適切な指導が行われ、児童生徒等の通学における安全が確保されている。
	<b>【経済性・効率性】</b> 主な経費は、交通安全街頭指導員への報酬であり、報酬の額は「特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」で規定された金額を適用していることから、妥当であると考ええる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

通学時の交通安全の確保という本務とともに「地域での見守り」としての役割が評価されており、今後も配置箇所の適正化等を十分に考慮しながら、当該事業を継続していく必要がある。

また、どの指導員も一定レベルの職務が求められるため、研修やマニュアル作成によってより児童の安全の確保に努める。

番号 17

事業名	小学校遊具整備改修事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	児童の身体的・精神的・社会的能力などを身につけるために設置された遊具の適切な維持管理を行う。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,958	1,940	3,078
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 118 工事請負費 2,960		

3. 活動指標

	22年度	23年度	24年度
	8箇所	8箇所	9箇所
改修箇所数	播磨小学校 1 播磨西小学校 4 播磨南小学校 2 蓮池小学校 1	播磨小学校 2 播磨西小学校 4 播磨南小学校 1 蓮池小学校 1	播磨小学校 3 播磨西小学校 1 播磨南小学校 1 蓮池小学校 4

4. 成果指標等

事業の成果等について	校庭等に設置した遊具の適切な維持管理を実施したことにより、児童への安全が図られ、安心して使用できる状態を維持することができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 遊具の安全確保は設置者及び管理者の責務であり、国土交通省の指針に沿って策定された「遊具の安全に関する基準」に基づいた維持管理が必要である。
	<b>【有効性】</b> 遊具の適切な維持管理を行うことにより、児童の安全が確保される。
	<b>【経済性・効率性】</b> 国土交通省の指針に沿って策定された「遊具の安全に関する基準」に基づき、点検・評価を行い、その結果けがや事故の要因になるものを対象に整備を行っている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

今後も国土交通省の指針に沿って策定された「遊具の安全に関する基準」を参考に、社団法人日本公園施設業協会会員による点検・評価を実施するとともに、その結果を用いて、けがや事故の起因となるような遊具については順次整備もしくは更新を図っていく。

番号 18

事業名	播磨小学校受電設備改修事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	---------------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	安全で安心な教育環境の構築のため、設置後30年以上経過し、全体が経年劣化している高圧受変電設備を更新する。		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	313
24年度の主な歳出節別内訳	設計業務委託料 313		

### 3. 活動指標

主な事業内容	実施設計業務 一式
--------	-----------

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	受変電設備を改修するために必要な実施設計書類が一式作成することができ、工事の発注等の準備を整えることができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法では、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である。
	<b>【有効性】</b> 全体が経年劣化している高圧受変電設備を更新することで、より安全性、効率性が高められる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 見積り比較を実施し、最も安価な業者に発注することによって、適正な費用で実施できた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

26年度に更新工事を実施する。

番号 19

事業名	蓮池小学校給食室改修事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(3) 信頼される教育環境の構築	
	⑤ 教育環境の整備	
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備	
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備
事業概要	安全な給食を安定的に提供できるよう、給食室内のブレーカー遮断が頻発している容量不足の電気設備、並びに配膳棚等を改修する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	704
24年度の主な歳出節別内訳	設計委託料 704		

3. 活動指標

主な事業内容	実施設計業務 一式
--------	-----------

4. 成果指標等

事業の成果等について	給食室を改修するために必要な実施設計書類が一式作成することができ、工事の発注等の準備を整えることができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校給食法にも定められているように、安全な給食を安定して提供する必要がある。
	<b>【有効性】</b> 安定的に提供できる環境が整うことで、安定的に安全に提供できる学校給食の本来の目的が達成できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 見積り比較を実施し、最も安価な業者に発注することによって、適正な費用で実施できた
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

25年度に改修工事を実施する。
-----------------

番号 20

事業名	小学校施設非部材等耐震対策事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	地震時に非構造部材等の落下事故が生じないように、設備機器の固定状況の調査を行い、改修工事を実施する。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	932
24年度の主な歳出節別内訳	調査委託料 932		

3. 活動指標

主な事業内容	非構造部材の現況調査 一式
--------	---------------

4. 成果指標等

事業の成果等について	非構造部材の耐震工事を行うために必要な調査が実施でき、工事の発注等の準備を整えることができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法では、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である。
	<b>【有効性】</b> 災害時の児童・教職員・避難者への安全が確保できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 一般競争入札によって、最も安価な業者に発注することにより、適正な費用で実施できた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

25年度で工事を実施する。

番号 2 1

事業名	小学校就学援助事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	② 確かな学力の育成	
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	1 生涯学習の充実	各年代に応じた学習機会の充実
事業概要	心身ともに健全な児童の育成を図るため、経済的理由により就学が困難な児童に対し、学用品、給食費等を補助する。	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	19,677	18,779	20,106
24年度の主な歳出節別内訳	役務費 15 扶助費 20,091		

### 3. 活動指標

#### ①就学援助支給者

	22年度	23年度	24年度
播磨小学校	69人	74人	77人
蓮池小学校	141人	126人	130人
播磨西小学校	78人	73人	72人
播磨南小学校	27人	19人	32人
合計	315人	292人	311人

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して教育に係る費用の一部を援助することで、義務教育の円滑な実施に資することができた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 「教育の機会均等」の実現を図るため、真に就学援助を必要とする家庭に対して援助を行い、児童が安心して学校生活を送ることができるように援助する必要がある。
	<b>【有効性】</b> 就学援助は、生活保護法に規定する要保護者並びにそれに準ずる家庭の保護者にとって必要な経費であり、安心して学校生活を送るためには有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 播磨町就学援助規則で定められた基準によって適正に援助している。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

景気低迷の長期化による保護者の失業、収入の減少、または離別等によって就学援助を必要とする世帯が相当数存在しており、児童の教育を受ける環境を整える面から考慮すると継続する必要がある。

番号 2 2

事業名	小学校情報教育運営事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きる力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	豊かな心の育成	
	ix 情報化社会に対応できる情報教育の充実	
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備
事業概要	小学校教育にコンピューターネットワークを導入し、情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、情報発信や知的情報資源へのアクセスなどを児童が積極的に活用していく実践教育を継続的に実施する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	3,649	667	36,555
24年度の主な歳出節別内訳	役務費 570 委託料 3,517 備品購入費 32,250		

3. 活動指標

①情報教育授業時数

	22年度	23年度	24年度
播磨小学校	420時間	420時間	420時間
蓮池小学校	630時間	560時間	580時間
播磨西小学校	315時間	280時間	280時間
播磨南小学校	280時間	210時間	287時間

※授業時数はパソコン教室を割り当てている時間数である。

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>教員のICT技術も向上し、デジタルコンテンツや教材ソフトを効果的に活用した教科学習や総合的な学習ができており、基礎学力の定着、学習意欲の喚起につながっている。ICTを活用する基礎的な技術だけでなく、インターネットにおける情報モラル、情報セキュリティについても指導できた。</p> <p>また、平成24年度は、パソコン教室の10年前のコンピューターなどを買い換え、授業中に起こっていたソフトのフリーズや動作が遅いため、児童の集中力が途切れることが解消された。</p>
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校における ICT 環境整備は、時代の要請でもあり、また学力向上のため道具としてのパソコン活用は避けては通れないものである。国も教育の情報化を重点課題としており、情報教育や教科指導における ICT 活用を進めるために必要である。
	<b>【有効性】</b> 校内 LAN の整備により、どの教室からもサーバーやインターネットにアクセスできる環境ができ、またすべての学校がホームページを立ち上げ、情報公開できている。 各教室の50インチデジタル TV をディスプレイとして活用しわかりやすい授業づくりに有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 導入に当たって保護者や地域ボランティアの協力を得るなど、経費節減に努めた。また、保守点検料を随時修理にすることにより、実情に応じた大幅な効率化を図っている。さらに、21年度の緊急経済対策による、ICT 環境整備事業で整備した機器の活用することで ICT 環境が充実した。
	<b>【その他】</b> また、平成24年度は、パソコン教室の10年前のコンピューター等を買替え、授業中に起こっていたソフトのフリーズや動作が遅いため児童の集中力が途切れることが解消された。

## 6. 今後の方向性等

平成18年7月26日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)より「重点計画-2006」が決定され、2010年度までに教員一人1台のコンピューター、児童生徒3.6人に1台の教育用コンピューターの整備が目標とされた。現状の活用状況、また現場の声、期待される効果等を勘案し機器・OS・ソフトウェアの更新を随時、図っていきたい。

平成24年度には、小学校に整備されているコンピューター等の買い換えが完了した。今後は、パソコンを活用するためのソフトや設備等を更新するための予算化をする必要がある。

番号 23

事業名	小学校体験活動事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	-----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きる力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
第4次総合計画での位置付け	4 豊かな心の育成	
	ii 児童生徒の自己実現への支援	
事業概要	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の・・・
3年生では自然に触れることで命の営みや大切さを学び、5年生では宿泊体験を通して豊かな感性や社会性を育む活動を行う。		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	7,264	7,267	7,230
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 7,230		

### 3. 活動指標

①自然学校

	22年度	23年度	24年度
参加者数	718人	651人	713人

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>自然学校では、自然体験、集団活動をすることによって、豊かな心やたくましく生き抜く心が育っている。また、環境体験活動では、水辺での体験活動など自然にふれあうなかで、命の大切さや命のつながりを実感させるとともに、美しさに感動する豊かな心をはぐくむことができた。</p> <p>今後は、各小学校や児童の実態に応じて工夫改善し、より有意義な活動内容にしていく必要がある。</p>
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 新学習指導要領においても、子どもたちの社会性や豊かな心や人間性をはぐくむために、その発達の段階に応じて体験活動を重点的に推進するとある。 また、本事業は兵庫県下の全小学校で継続実施されている事業であり、播磨町でも小学校3年生、5年生が実施している。家庭や学校では得難い活動を体験できることは、児童や保護者からも期待があり、「生きる力」の素地を養うための妥当な事業といえる。
	<b>【有効性】</b> 自然の中での活動経験が少なくなりつつある現代の子どもたちにとって、環境体験活動や自然学校での活動は貴重な体験であり、目的とする「生きる力」を育むための有効な事業である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 経済的な施設を利用しており、関わる人材においても自然学校専門指導員を派遣し効率化を図っている。また、地域の学校支援地域本部事業の環境ボランティアの活用など幅広く人材の確保に努める必要がある。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

自然学校が恒例行事として定着しているものの活動内容はマンネリ化してきている。そこで、各学校は児童の実態を捉まえながら、実施時期を早め、活動内容の見直しを検討し、より児童にとって有意義な活動内容を工夫していくことが大切である。環境体験活動については、各校の現状により場所を選び、播磨町の身近な自然環境にふれながら、播磨町以外の自然環境(里山・水辺・海辺など)について体験することで、環境学習を深めたい。

番号 24

事業名	中学校保健衛生事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成		
	③ 健やかな体の育成		
	iii 生涯にわたる健康の基礎を培う学校保健の充実		
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の推進	
事業概要	生徒及び教職員を対象に学校保健安全法に基づく健康診断を実施し、健康の保持及び増進を図る。		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	6,182	6,548	6,324
24年度の主な歳出節別内訳	報償費 委託料	3,353 2,643	

### 3. 活動指標

#### ①各種検診受診状況

		22年度	23年度	24年度
胸部結核検診		0人	3人	1人
腎臓検診	1次検尿	1,008人	1,042人	1,006人
	2次検尿	153人	163人	128人
糖尿病検診	1次検診	1,008人	1,042人	1,006人
	2次検診	0人	1人	1人
心臓検診	1次検診	339人	375人	335人
	2次検診	338人	375人	334人
	精密検診	12人	16人	9人

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	学校保健安全法の規定に基づく健康診断の検査を実施したことにより、生徒及び教職員の健康保持及び増進が図られた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法において生徒及び教職員への健康診断の実施の義務が規定されている。
	<b>【有効性】</b> 生徒及び教職員の健康状態の確認及び早期発見を目指し健康診断を実施することは、健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果を確保するためには有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 健康診断の委託先は財団法人加古川総合保健センターであり、委託料は一市二町（加古川市・稲美町・播磨町）同額であることから、適正な単価で実施できている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

当該事業は法律で義務付けられていることから、このまま継続する必要がある。

番号 25

事業名	中学校施設維持管理事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(3) 信頼される教育環境の構築	
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備	
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備	
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備
円滑な学校運営を推進するため、中学校施設の適切な維持管理と学校内の保全を行う。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度	
決算額	19,908	21,197	18,856	
24年度の主な歳出節別内訳	需用費	12,832	原材料費	474
	役務費	671		
	委託料	1,594		
	工事請負費	3,071		

3. 活動指標

①燃料費・光熱水費の推移

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
電気料金	6,578,117	5,847,660	6,054,249
水道料金	3,916,860	4,355,080	3,258,670
ガス料金	109,235	98,841	100,834

4. 成果指標等

事業の成果等について	円滑な学校運営の推進ができたとともに施設の適切な維持管理、学校内の保全を行うことができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校教育法の規定に基づき、学校の維持、管理、運営を行う必要がある。
	<b>【有効性】</b> 各種学校施設の経年化に伴い、適切な維持補修を実施することにより、建物の良好な維持管理、教育環境の整備、職員の健康保持、耐用年数等の増加等を図ることができるとともに、将来の経費を節減することができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 緊急性の高いものから順次、計画的な整備に取り組んでいる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

各中学校の校舎及び屋内運動場等主要な施設において、大規模な改良を必要とする老朽化が進行している。  
そのため、中学校の各種施設について優先順位を付して、計画的に「大規模改修」による整備工事を実施していく必要がある。

番号 26

事業名	中学校運営用備品整備事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(3) 信頼される教育環境の構築	
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備	
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備	
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備
事業概要	中学校運営用備品の整備等を行い、教育内容を充実し、生徒の学習効果をあげる。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	4,029	4,629	3,663
24年度の主な歳出節別内訳	備品購入費 3,663		

3. 活動指標

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
備品購入費	4,028,588	4,629,128	3,663,144

4. 成果指標等

事業の成果等について	日常の学校運営に必要な机・椅子等の備品を的確に整備したことで、児童が良好な環境のもとに教育が受けられるようになった。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校運営を円滑に行うためには印刷機、机、椅子、ロッカー等の備品は必要不可欠であり、そのような備品を更新または新規に整備することはより良い教育環境を整備することからも妥当である。 また、各校の日常業務で使用している校務用パソコンが老朽化していたことから更新を図る必要があった。
	<b>【有効性】</b> 備品の整備は、各校から提出されたリストによる優先順位をもって実施しており、必要な場合は備品の状態等も現地で確認していることから、有効な整備ができています。 加えて、日常業務で使用している校務用パソコンの更新が実施され、作業効率が改善しました。
	<b>【経済性・効率性】</b> 学校からの要望を、予算の範囲内で精査し、優先順位を決めて計画的に整備を進めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

良好な教育環境を持続していくためにも、計画的な備品の整備は今後も引き続き必要である。整備方法については、今後の児童数の動向を踏まえ、限定された予算内において、必要性・緊急性及び適正な規格等を考慮しながら順次整備を実施していく。

番号 27

事業名	中学校給食事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	---------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	③ 健やかな体の育成	
	iii 生涯にわたる健康の基礎を培う学校保健の充実	
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の推進
事業概要	中学校の全生徒に対し、調理配送業務委託方式で完全給食を実施し、健康の保持増進を図るとともに、望ましい食習慣を養い、食の自己管理能力を身につけさせる。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度	
決算額	13,721	54,474	54,192	
24年度の主な歳出節別内訳	旅費	7	負担金補助	5
	需用費	122		
	役務費	32		
	委託料	53,791		
	備品購入費	237		

3. 活動指標

		23年度	24年度	
給食実施日数	播磨中学校	1年生	145日	151日
		2年生	149日	154日
		3年生	132日	141日
	播磨南中学校	1年生	150日	154日
		2年生	152日	155日
		3年生	136日	141日

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>平成23年1月から開始した給食も2年が経過し大きなトラブルもなく、教職員の協力により、より一層食育の充実が図られた。</p> <p>また、平成24年2月に全生徒を対象に実施したアンケート調査の結果においても、前年度と比較して満足度が約10ポイント程度アップし、給食の定着化が図られてきているものと思われる。</p> <p>ただし、調理・配送業務については平成23年度から平成27年度までの5ヶ年の委託契約を締結しているため、その先をどうするのか、また、保護者の負担である「給食費」の徴収事務について、今後未納者への対応に係る事務の増大が懸念される。</p>
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 平成21年度に播磨町中学校給食実施計画等検討委員会によって策定された「播磨町中学校学校給食実施計画」に基づく「主食、副食及びミルクからなる完全給食」を生徒全員に提供することができた。
	<b>【有効性】</b> バランスの取れた栄養豊かな食事を提供することにより、成長期にある生徒の心身の発達に寄与できるとともに日常生活における望ましい食習慣を養うことができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 「学校給食衛生管理の基準」等に準拠した調理場を有する民間事業者により調理、配送業務を委託することによって、直営と比較して安価に中学校給食を実施することができた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

委託業者による調理・配送業務や中学校の現場における配膳・喫食・後片付け等の学校給食における一連の流れは、時間の経過とともに徐々にではあるが円滑に実施できるようになってきている。  
しかしながら、今後も「両中学校・教育委員会・委託業者」の三者で常時連携しながら更なる円滑な運営に努めていく必要がある。

番号 28

事業名	播磨中学校受電設備改修事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	---------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
安全で安心な教育環境の構築のため、設置後30年以上経過し、全体が経年劣化している高圧受変電設備を更新する。			

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	313
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 313		

3. 活動指標

主な事業内容	実施設計業務 一式
--------	-----------

4. 成果指標等

事業の成果等について	受変電設備を改修するために必要な実施設計書類が一式作成することができ、工事の発注等の準備を整えることができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法では、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である。
	<b>【有効性】</b> 全体が経年劣化している高圧受変電設備を更新することで、より安全性、効率性が高められる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 見積り比較を実施し、最も安価な業者に発注することによって、適正な費用で実施できた
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

25年度に更新工事を実施する。
-----------------

番号 29

事業名	播磨南中学校外構施設等改修事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
播磨南中学校北側の都市計画道路「浜幹線」の新設工事に伴い、同校の浜幹線に面する箇所の施設及び設備の改修を行い、学校の環境整備を実施する。			

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	25,792	15,704
24年度の主な歳出節別内訳	工事請負費 15,704		

3. 活動指標

主な工事内容	目隠しフェンス設置 L=131m メッシュフェンス設置 L=94m 防球ネット L=163m 防犯灯撤去・設置 3基
--------	---

4. 成果指標等

事業の成果等について	都市計画道路「浜幹線」の新設とともに学校周辺の環境整備を実施したことにより、教育環境が大幅に向上した。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 播磨南中学校の北面のフェンスや周辺の設備等は相当老朽化が進行していたので、都市計画道路「浜幹線」の新設工事の施工に併せて、整備する必要性があった。
	<b>【有効性】</b> 今後、浜幹線が供用されると歩行者や車両の往来が大幅に増加し、播磨南中学校の東側の環境が大きく変化することから、今回の周辺整備を実施することにより良好な学校管理が行えるようになった。
	<b>【経済性・効率性】</b> 施工箇所が浜幹線の新設工事と近接していることから、双方の工事において手戻り等が生ずることのないよう施工箇所の調整を図りながら円滑に実施することができた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

浜幹線は、播磨町と加古川市・明石市とを広域的に結ぶ主要な都市計画道路であり、この道路が供用されると歩行者や車両の往来が大幅に増加し、播磨南中学校の北側の状況は一変することが考えられる。

そのことから、今回の周辺整備を実施することにより、学校の生活環境が向上するとともに良好な学校管理等が行えるようになった。

番号 30

事業名	中学校施設非構造部材等耐震対策修事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	--------------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	地震時に非構造部材等の落下事故が生じないように、設備機器の固定状況の調査を行い、改修工事を実施する。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	679
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 679		

3. 活動指標

主な事業内容	非構造部材の現況調査 一式
--------	---------------

4. 成果指標等

事業の成果等について	非構造部材の耐震工事を行うために必要な調査が実施でき、工事の発注等の準備を整えることができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法では、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である。
	<b>【有効性】</b> 全体が経年劣化している高圧受変電設備を更新することで、より安全性、効率性が高められる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 一般競争入札によって、最も安価な業者に発注することにより、適正な費用で実施できた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

25年度に更新工事を実施する。

番号 3 1

事業名	播磨南中学校屋内運動場大規模 改造事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	------------------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	昭和55年3月の竣工以降、大規模な改修が行われていないことから各所に老朽化が進展し、日常の使用においても支障が生じていることから施設全体の改修を実施する		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	2, 162
24年度の主な歳出節別内訳	役務費 93 委託料 2, 069		

3. 活動指標

主な事業内容	実施設計業務 一式
--------	-----------

4. 成果指標等

事業の成果等について	大規模改修事業を実施するために必要な実施設計書類が一式作成することができ、工事の発注等の準備を整えることができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法では、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である
	<b>【有効性】</b> 老朽化している体育館を改修することで、教育環境の改善が図られ健やかな成長を促進できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 一般競争入札によって、最も安価な業者に発注することにより、適正な費用で実施できた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

25年度に工事を実施する。
---------------

番号32

事業名	中学校就学援助事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
第4次総合計画での位置付け	基本目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	1 生涯学習の充実	各年代に応じた学習機会の充実
事業概要	心身ともに健全な生徒の育成を図るため、経済的理由により就学が困難な生徒に対し、学用品費、修学旅行費等を補助する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	10,743	16,117	16,586
24年度の主な歳出節別内訳	役務費 9 扶助費 16,577		

3. 活動指標

①就学援助支給者

	22年度	23年度	24年度
播磨中学校	90人	88人	85人
播磨南中学校	86人	86人	91人
合計	176人	174人	176人

4. 成果指標等

事業の成果等について	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して教育に係る費用の一部を援助することで、義務教育の円滑な実施に資することができた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 「教育の機会均等」の実現を図るため、真に就学援助を必要とする家庭に対して援助を行い、生徒が安心して学校生活を送ることができるように援助する必要がある。
	<b>【有効性】</b> 就学援助は、生活保護法に規定する要保護者並びにそれに準ずる家庭の保護者にとって必要な経費であり、安心して学校生活を送るためには有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 播磨町就学援助規則で定められた基準によって適正に援助している。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

景気低迷の長期化による保護者の失業、収入の減少、または離別等によって就学援助を必要とする世帯が相当数存在しており、生徒の教育を受ける環境を整える面から考慮すると継続する必要がある。

番号 33

事業名	「トライやる・ウィーク」事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	----------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きる力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成	
	4 豊かな心の育成	
	ii 児童生徒の自己実現への支援	
第4次総合計画での位置付け	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の・・・
事業概要	自己を見つめ、自分の生き方を考え、心豊かにたくましく生きる力を育むため、中学2年生全員を対象に、1週間の体験活動を実施する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,800	1,800	2,000
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 2,000		

3. 活動指標

① トライやる・ウィーク

	22年度	23年度	24年度
参加者	357名	320名	361名
協力事業所数	93事業所	93事業所	99事業所

4. 成果指標等

事業の成果等について	子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むために、発達段階に応じて自然体験やボランティア活動などの社会体験活動を行うことは、大変重要である。子どもたちが、自ら学び、考え、体得する体験活動は今の子どもに対して、正しい職業観、勤労観を育むためにも有効である。今後も新規事業所の開拓も引き続き進めるとともに、トライやる・ウィークの意義を再確認し、事前指導の充実を図りたい。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 新学習指導要領でも体験活動の重要性は強調されており、この事業の意義は大きい。兵庫県の重要な施策であり、県内の全中学校が実施している。
	<b>【有効性】</b> 子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むために、発達段階に応じてボランティア活動などの社会体験活動を行うことは、大変重要である。子どもたちが、自ら学び、考え、体得する体験活動は今の子どもに対して、正しい職業観、勤労観を育むためにも有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 小学校3年生の環境体験活動、小学校5年生で実施の自然学校と中学校2年生実施のトライやる活動は、発達段階に応じた子どもへの体験活動として必要である。
	<b>【その他】</b> 協力事業所の数・職種・生徒受け入れ人数と必ずしも生徒のニーズと合致するとは言えない。また、昨今の不況下、新規の事業所開発も困難な状況にある。両中学校が相互に乗り入れる形で実施しているが十分とは言えない。

## 6. 今後の方向性等

播磨町の地域性や独自性を加味するとともに、子どものニーズに十分応えられるようなプログラムを展開するため、播磨町トライやる推進協議会や両中学校のトライやる推進委員会をより充実していく必要がある。

また、協力事業所の確保に若干の課題はあるが、中学生のキャリア教育の重要な部分を担い、自己を見つめさせるよい機会となり、新規事業所の開拓も引き続き進めるとともに、トライやる・ウィークの意義を再確認し、事前指導の充実を図りたい。

番号 34

事業名	中学校情報教育運営事業	担当グループ	学校教育グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1 自立して社会で生きる力を育てる	
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成 豊かな心の育成	
第4次総合計画での位置付け	ix 情報化社会に対応できる情報教育の充実	
	第1節 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
事業概要	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の・・・
	<p>新しい学習指導要領において、今後の我が国の経済発展の牽引力となる情報化を促進するため子供たちの情報リテラシーの基礎的能力・資質を育成するのが重要であるとされている。</p> <p>中学校教育においても知的情報源へのアクセスなど積極的に実践教育を行う。</p>	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	2,187	450	462
23年度の主な歳出節別内訳	役務費 358		

3. 活動指標

①情報教育授業時数

	22年度	23年度	24年度
播磨中学校	350時間	350時間	595時間
播磨南中学校	420時間	420時間	420時間

※授業時数はパソコン教室を割り当てている時間数である。

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>教員のICT技術も向上し、教科学習も充実してきた。新学習指導要領への移行で総合的な学習の時間の減少もあるが、情報教育とともに各教科で実物投影機、50インチ大型ディスプレイ等ICT活用が進んだ。今後は、各教科でのPC教室の使用や電子黒板、50インチデジタルTVなどの機器を活用した授業研究を推進する。また、ICTを活用する基礎的な技術だけでなく、インターネットにおける情報モラル、情報セキュリティーについても指導することができた。</p>
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<p><b>【妥当性】</b>            学校における ICT 環境整備は、時代の要請でもあり、また学力向上のため道具としてのパソコン活用は避けては通れないものである。国も教育の情報化を重点施策とし、情報教育や各教科指導における ICT 活用を推進している。</p>
	<p><b>【有効性】</b>            校内 LAN の整備により、どの教室からもサーバーやインターネットにアクセスできる環境ができ、授業でデジタルコンテンツ等を活用しわかりやすい授業づくりを心がけている。またすべての学校がホームページを立ち上げ情報公開に努め、希望する保護者へのメールを活用した連絡体制も整備できた。</p>
	<p><b>【経済性・効率性】</b>            導入に当たって保護者や地域ボランティアの協力を得るなど、経費節減に努めた。また、保守点検料を随時修理にすることにより、実情に応じた大幅な効率化を図っている。</p>
	<p><b>【その他】</b></p>

## 6. 今後の方向性等

平成 18 年 7 月 26 日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部 (IT 戦略本部) より「重点計画-2006」が決定され、2010 年度までに教員一人 1 台のコンピューター、児童生徒 3.6 人に 1 台の教育用コンピューターの整備が目標とされた。現状の活用状況、また現場の声、期待される効果等を勘案し機器・OS・ソフトウェアの更新を図っていきたい。

今後も、各教科での PC 教室の使用や電子黒板、50 インチデジタル TV などの機器を活用した授業づくりに努める。

また、ICT を活用する基礎的な技術だけでなく、インターネットにおける情報モラル、情報セキュリティについても指導を充実させたい。また、ウインドウズ XP のサポート終了に伴い新 OS への更新や新 OS 対応機器等設備の更新に努める。

番号 35

事業名	幼稚園保健衛生事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(2) 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成		
	③ 健やかな体の育成		
	iii 生涯にわたる健康の基礎を培う学校保健の充実		
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	「生きる力」を育む特色ある教育の推進	
事業概要	園児及び教職員を対象に学校保健安全法に基づく健康診断を実施し、健康の保持及び増進を図る。		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	3,855	3,813	3,884
24年度の主な歳出節別内訳	報償費	2,806	
	需用費	101	
	委託料	951	
	使用料及び賃借料	26	

### 3. 活動指標

#### ①幼稚園保健衛生事業

		22年度	23年度	24年度
腎臓検診	1次検尿	430人	451人	481人
	2次検尿	41人	55人	68人
糖尿病検診	1次検診	430人	451人	481人
	2次検診	0人	0人	0人
ぎょう虫卵検診		431人	451人	481人

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	学校保健安全法の規定に基づく健康診断の検査を実施したことにより、園児及び教職員の健康保持及び増進が図られた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法において園児及び教職員への健康診断の実施の義務が規定されているの
	<b>【有効性】</b> 園児及び教職員の健康状態の確認及び早期発見を目指し健康診断を実施することは、健康の保持増進を図り、幼稚園教育の円滑な実施とその成果を確保するためには有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 健康診断の委託先は財団法人加古川総合保健センターであり、委託料は一市二町(加古川市・稲美町・播磨町)同額であることから、適正な単価で実施できている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

当該事業は法律で義務付けられていることから、このまま継続する必要がある。

番号 36

事業名	幼稚園施設維持管理事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
円滑な幼稚園運営を推進するため、幼稚園施設の適切な維持管理と園内の保全を行う。			

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	6,041	4,914	5,526
24年度の主な歳出節別内訳	需用費	3,653	
	委託料	1,096	
	使用料及び賃借料	300	

3. 活動指標

①燃料費・光熱水費の推移

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
電気料金	1,622,103	1,583,001	1,508,557
水道料金	917,800	963,790	1,006,240
ガス料金	496,467	483,200	471,363

4. 成果指標等

事業の成果等について	円滑な園の運営が推進できたとともに施設の適切な維持管理、園内の保全を行うことができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校教育法の規定に基づき、園施設の維持、管理、運営を行う必要がある。
	<b>【有効性】</b> 各種施設の経年化に伴い、適切な維持補修を実施することにより、建物の良好な維持管理、教育環境の整備、職員の健康維持、耐用年数等の増加を図ることができるとともに、将来の経費を節減することができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 緊急性の高いものから順次、計画的に取り組んでいる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

良好な教育環境及び園児の安全等を確保するため、施設内の主要な箇所の状況を定期的に点検し、老朽化の進行状況を把握するとともに年次的に補修等を実施していく必要がある。

番号 37

事業名	幼稚園運営用備品整備事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
幼稚園運営用備品の整備を行い、教育内容を充実し、園児の学習効果をあげる。			

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	739	892	1,225
23年度の主な歳出節別内訳	備品購入費 1,225		

3. 活動指標

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
備品購入費	739,250	891,930	1,224,734

4. 成果指標等

事業の成果等について	日常の園運営に必要な各種備品を的確に整備したことで、園児が良好な環境のもとに教育が受けられるようになった。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 幼稚園運営を円滑に行うためには印刷機、机、椅子、ロッカー等の備品は必要不可欠であり、そのような備品を更新、または新規に整備することはより良い教育環境を整備することからも妥当である。
	<b>【有効性】</b> 備品の整備は、各園から提出されたリストによる優先順位をもって実施しており、必要な場合は備品の状態等も現地で確認していることから、有効な整備ができています。
	<b>【経済性・効率性】</b> 予算の範囲内で幼稚園からの要望を精査し、優先順位を決めて計画的に整備を進めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

良好な教育環境を持続していくためにも、計画的な備品の整備は今後も引き続き必要である。  
整備方法については、今後の園児数の動向を踏まえ、限定された予算内において、必要性・緊急性及び適正な規格等を考慮しながら順次整備を実施していく。

番号 38

事業名	幼稚園遊具整備改修事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	園児の身体的・精神的・社会的能力などを身につけるために遊具の適切な維持管理を行う。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	895	208	549
23年度の主な歳出節別内訳	委託料 50 工事請負費 499		

3. 活動指標

	22年度	23年度	24年度
改修箇所数	1箇所 (播磨西幼稚園)	1箇所 (播磨幼稚園)	1箇所 (蓮池幼稚園)

4. 成果指標等

事業の成果等について	園庭に設置した遊具の適切な維持管理を実施したことにより、園児への安全が図られ、安心して使用できる状態を維持することができた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 遊具の安全確保は設置者及び管理者の責務であり、国土交通省の指針に沿って策定された「遊具の安全に関する基準」に基づいた維持管理が必要である。
	<b>【有効性】</b> 遊具の適切な維持管理を行うことにより、園児の安全が確保される。
	<b>【経済性・効率性】</b> 国土交通省の指針に沿って策定された「遊具の安全に関する基準」に基づき、点検・評価を行い、その結果けがや事故の要因になるものを対象に整備を行っている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

今後も国土交通省の指針に沿って策定された「遊具の安全に関する基準」を参考に、社団法人日本公園施設業協会会員による点検・評価を実施するとともに、その結果を用いて、けがや事故の起因となるような遊具については順次整備もしくは更新を図っていく。

番号 39

事業名	幼稚園施設非構造部材等耐震対策事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-------------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
第4次総合計画での位置付け	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
事業概要	地震時に非構造部材等の落下事故が生じないよう、設備機器の固定状況の調査を行う。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額			69
24年度の主な歳出節別内訳	委託料	69	

3. 活動指標

主な事業内容	非構造部材の現況調査 一式
--------	---------------

4. 成果指標等

事業の成果等について	非構造部材の耐震対策の現状が把握できた。
------------	----------------------

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 幼稚園における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である。
	<b>【有効性】</b> 災害時の園児・教職員への安全が確保できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 一般競争入札によって、最も安価な業者に発注することにより、適正な費用で実施できた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

24年度実施の調査によって、耐震化すべき非構造部材がないことが判明したため、実際の工事は実施しない。

番号 40

事業名	社会教育委員設置事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	1 生涯学習の充実	生涯学習の計画的な推進
事業概要	社会教育法に基づき、社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に応じて研究調査を行う。また、教育委員会の会議に出席し、社会教育に関して意見を述べる。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	531	535	532
24年度の主な歳出節別内訳	報酬 433 旅費 26 需用費 24 負担金補助及び交付金 49		

3. 活動指標

①社会教育委員会の活動

	22年度	23年度	24年度
社会教育委員数	8人	8人	8人
委員会開催回数	4回	4回	4回

4. 成果指標等

事業の成果等について	社会教育に関する諸計画の立案や検討を行った。また、各委員が研修を重ね、生涯学習グループ所管の行事等に積極的に参加し、社会教育委員としての資質向上に努め、本町の社会教育の推進に寄与している。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 社会教育法に社会教育委員の設置等に関することが規定されており、また、播磨町社会教育委員に関する条例において、委員の定数や任期などを定めている。
	<b>【有効性】</b> 社会教育委員は、学識経験者、学校関係者、社会教育関係者等に委嘱しており、それぞれの立場から、社会教育に関する諸計画の立案や調査研究を行い、また、教育委員会や社会教育団体、指導者へ助言するなど、社会教育の推進には必要である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 年4回開催する定例会において集中的に審議を行うことで、効率的な運営を心がけている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

引き続き積極的に委員活動を推進する。

番号 4 1

事業名	社会教育推進委員設置事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑪ 生涯学習の機会の提供	
	iii 生涯学習関係団体の活動支援	
第4次総合計画での位置付け	目標 4 つながりをお大切にするまち	3 まちづくりに住民が参画できるまちをつくる
	1 地域活動の活性化・住民参加の推進	まちづくりの担い手の育成支援
事業概要	自治会等における住民の自主的な文化活動やスポーツ、レクリエーション活動の推進及び各種社会教育事業の連絡調整を行う。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,155	1,075	1,039
24年度の主な歳出節別内訳	報酬 952 報償費 60 需用費 7 役務費 20		

3. 活動指標

①社会養育推進委員会の活動

	22年度	23年度	24年度
委員数	93人	93人	94人
委員会開催回数	2回	2回	2回

4. 成果指標等

事業の成果等について	各自治会から選出された「社会教育推進委員」は、地域での文化活動やスポーツ、レクリエーション活動の推進に寄与している。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 各委員は、地域で創意工夫した事業や活動の場を提供し、子どもから高齢者まで、地域でのスポーツ・文化活動を通して、人づくりの輪を地域で広めている。
	<b>【有効性】</b> スポーツ・文化に関する活動機会を提供することにより、地域活動の充実を図ることができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 自治会内や地域のふれあいは大切であり、各種団体との連携も図りながら効率的に取り組んでいる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

平成24年度は94名に委嘱しているが、社会教育推進委員研修会への参加は、1回目が63名、2回目が49名であり、今後、研修会への参加を促すなど、地域活動推進者の育成を図る。
---

番号 4 2

事業名	派遣社会教育主事設置事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	1 生涯学習の充実	生涯学習の計画的な推進
事業概要	県から派遣された社会教育主事を配置し、専門的かつ技術的な助言と指導により、社会教育の活性化及び充実を図る。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,622	1,776	1,565
24年度の主な歳出節別内訳	報償費 1,536 旅費 23 負担金及び交付金 6		

3. 活動指標

項目	22年度	23年度	24年度
配置人数	1人	1人	1人
研修回数	6回	6回	6回

4. 成果指標等

事業の成果等について	研修を重ねた社会教育主事を配置し、指導を受けることにより、本町における社会教育に関する施策が円滑に推進されている。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 兵庫県 の 派遣社会教育主事制度による派遣制度であり、活用すべき制度である。
	<b>【有効性】</b> 兵庫県 の 派遣社会教育主事制度による派遣制度であり、職員として社会教育主事を活用できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 兵庫県 の 派遣社会教育主事制度による派遣制度であり、給与は県が負担しており、町の持出し費用は少なく、コスト削減が図られている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

<p>この制度を引き続き積極的に活用する。</p> <p>派遣社会教育主事は、社会教育主事資格を取得している教員が町に派遣される制度であり、今後も、社会教育主事資格を持つ教員の養成に努める。</p> <p>また、派遣社会教育主事は、社会教育主事の配属部署に派遣されるので、社会教育主事資格を持つ職員の要請にも努める。</p>
--

番号 4 3

事業名	ふれあい活動推進事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	iii 生涯学習関係団体の活動支援	
第4次総合計画での位置付け	目標 4 つながりをお大切にするまち	3 まちづくりに住民が参画できるまちをつくる
	1 地域活動の活性化・住民参加の推進	住民・自治会・NPOなどとの連携による活動支援
事業概要	各種の奉仕活動や学習活動、福祉活動を推進する女性団体を支援し、温かい人間関係で結ばれた快適で住みよい地域づくりを行う。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	500	498	230
23年度の主な歳出節別内訳	負担金補助及び交付金 230		

3. 活動指標

支援団体の状況

	22年度	23年度	24年度
支援団体数	2団体	2団体	1団体
支援団体名	播磨町連合婦人会 播磨町女性活動活性化推進議会		播磨町連合婦人会

\* 播磨町女性活動活性化推進議会の構成団体：連合婦人会・いずみ会・シニアクラブ連合会女性部・消費者協会・日赤十字奉仕団・更生保護女性会播磨支部・JA兵庫南播磨支部女性会

4. 成果指標等

事業の成果等について	地域づくり活動や子育て支援活動、環境保護活動などに取り組み、温かい人間関係で結ばれた住みよい地域づくりを推進している。 播磨町女性活動活性化推進議会は、町の支援はなくなったが、引き続き子育て支援活動に取り組んでいる。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 明るい住みよいまちづくりには、女性の果たす役割が重要であり、引き続き、女性活動の支援が必要である。
	<b>【有効性】</b> 講演会、講座等の開催や活動機会を提供することにより、社会教育・福祉活動の充実を図ることができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 町の行事には、女性団体が協力、参画しており、イベントなどの成果に大きく貢献している。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

今後も協働と参画により、明るい住みよいまちづくりに貢献する女性団体の活動を支援する。

番号 4 4

事業名	青少年育成事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	---------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5)生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	i 青少年の体験活動と成人学習の充実		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	3 青少年の健全育成	家庭・学校・地域の連携による青少年の健全育成	
事業概要	青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や子ども会育成連絡協議会等の青少年団体の育成を行う。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,367	1,351	1,444
24年度の主な歳出節別内訳	報酬 136 需用費 126 役務費 12 負担金補助及び交付金 1,170		

3. 活動指標

①青少年問題協議会

項目	22年度	23年度	24年度
開催回数	2回	2回	2回
委員数	20人	20人	20人

青少年問題協議会の構成

(行政、議会代表、連合自治会代表、社会福祉協議会代表、民生児童委員代表、各学校園代表、PTA代表、子ども会代表、女性団体代表、保護司代表、南高校代表等)

②子ども会育成連絡協議会

項目	22年度	23年度	24年度
子ども会加入者数	1,595人	1,511人	1,425人
単位子ども会数	32	32	32

4. 成果指標等

事業の成果等について	あいさつ運動をひろめよう」、「親子、ファミリーで地域活動に参加しよう」、「青少年を地域で見守り、育てよう」をテーマに、学校、地域、家庭が連携し、青少年の健全育成に取り組むことができた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 青少年問題協議会の開催や子ども会育成連絡協議会等の青少年団体の育成を行うことは、青少年の健全育成を図るために必要である。
	<b>【有効性】</b> 各種団体があいさつ運動などを展開し、子どもたちの見守り活動を広めている。
	<b>【経済性・効率性】</b> 青少年健全育成の取組は大切であり、各種団体との連携を図りながら効率的に進めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

青少年健全育成に関する諸問題への対応については、今後も引き続き、各種団体との連携を図りながら取り組んでいく。

番号45

事業名	成人式開催事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	---------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け			
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち 3 青少年の健全育成	1 学校教育の充実したまちをつくる 社会での責任と大人への自覚を促す	
事業概要	平成25年1月13日(日)に中央公民館において、成人式の開催し、新しい時代を担う新成人を祝福し、責任と自覚を促す。		

2. 事業費

(単位:千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	595	572	529
24年度の主な歳出節別内訳	報償費 100 需用費 392 役務費 37		

3. 活動指標

①成人式参加者数 平成24年度 成人式(平成25年1月13日)実施

	22年度	23年度	24年度
案内数	366人	368人	357人
出席者数	282人	278人	272人

4. 成果指標等

指標1	指標の名称	成人式参加率		説明	成人式出席者数/成人式対象者数	
	指標の値	目標指票	22年度	23年度	24年度	備考
		80%	77.0%	75.5%	76.2%	

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 次代を担う若者の成人を祝う式典として、必要な事業である。
	<b>【有効性】</b> 新成人が運営し、大人への自覚を促すためには有効な機会である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 新成人実行委員の創意工夫により、費用のかからない式典を実施している。
	<b>【その他】</b> 会場を式典終了後も新成人の歓談等の場として午後4時まで開放したが、利用者はなかった。

## 6. 今後の方向性等

今後も新成人の意見や考えを踏まえながら、新成人による式典運営を継続し、新しい次代を担う新成人を祝い励ますとともに、成人としての義務と責任の自覚を促す。

番号 46

事業名	文化行事開催事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	iv 文化活動の振興		
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	3 芸術・文化活動の推進	芸術・文化活動の振興	
事業概要	播磨町美術協会、播磨町菊花会、播磨町文化協会の育成を図るとともに、美術展、菊花展、文化祭、東はりまみんよう大会等の開催を支援し、住民の芸術文化への関心を高める。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	2,450	1,550	1,929
24年度の主な歳出節別内訳	負担金補助及び交付金 1,929		

3. 活動指標

①美術展出品者数・来館者数 平成24年10月31日～11月4日 中央公民館にて開催

	22年度	23年度	24年度
出品者数	178人	195人	169人
出品点数	178点	195点	169点
来館者数	1,190人	1,322人	1,282人

②菊花展 平成24年10月31日～11月12日 役場駐輪場にて開催

	22年度	23年度	24年度
出品者数	17人	20人	24人
出品点数	72点	124点	209点

③町民文化祭 平成24年11月10日、11日 中央公民館にて開催

	22年度	23年度	24年度
出演団体数	26団体	26団体	27団体
来場者数	1,000人	800人	950人

4. 成果指標等

事業の成果等について	各実行委員会等が各展覧会や文化祭の企画運営を行い、創意工夫をしながら実施している。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 住民の芸術文化への関心を高め、芸術文化活動の振興を図る必要がある。
	<b>【有効性】</b> 文化団体の育成支援や美術展、菊花展及び文化祭等の開催は、住民の芸術文化に対する意欲を高め、芸術文化活動の振興に有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 各種団体の自主性や工夫により、できるだけ費用のかからない方法で事業展開を行っている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

各種団体の自主活動を支援しながら、住民の芸術文化への関心を高める。
-----------------------------------

番号47

事業名	体育レクリエーション推進事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	----------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑫ 健康・体力づくりのための事業の充実	
	i 健康・体力づくり事業の振興	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	2 スポーツ活動の推進	生涯スポーツの振興
事業概要	スポーツ推進委員の設置、各種スポーツ・レクリエーション大会や教室の開催及び社会体育指導者の育成等に努め、スポーツ・レクリエーションの生活化を推進する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度	
決算額	11,146	10,891	10,167	
24年度の主な歳出節別内訳	報酬	1,097	委託料	255
	報償費	269	負担金及び補助金	8,068
	需用費	371		

3. 活動指標

①スポーツ推進委員

	22年度	23年度	24年度
委員数	15人	15人	15人
委員会・研修会回数	19回	16回	16回
スポーツ行事等指導運営数	9回	17回	10回

②主なスポーツ行事等の参加者数

項目	22年度	23年度	24年度
健康福祉フェア(4/29 大中遺跡公園)	12,000人	12,000人	12,000人
町民運動会(6/3 野添、6/24 東部、10/28 西部、12/1 南部)	1,830人	1,440人	1,970人
陸上競技記録会(11/11 秋ヶ池運動場)	227人	216人	雨天中止
ながなわとび大会(12/1 総合体育館)	197人	230人	308人
ロードレース大会(1/27 総合体育館⇄新島)	1,446人	1,583人	1,427人

4. 成果指標等

事業の成果等について	スポーツ推進委員やスポーツ団体、ボランティアの協力や参画を得て、各種スポーツ・レクリエーション行事等を開催し、住民の健康づくりや仲間づくりが図られている。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 住民の健康づくりや生きがいがいづくりとともに、住民交流の場として、スポーツ活動の普及・推進が必要である。
	<b>【有効性】</b> 各種のスポーツ・レクリエーション行事等を開催することにより、住民の健康づくりや仲間づくりが図られている。
	<b>【経済性・効率性】</b> スポーツ推進委員やスポーツ団体、ボランティアの参画や協力を得て、各種のスポーツ・レクリエーション行事が実施されている。実施内容等も住民ニーズを基に創意工夫し、経費節減にも努めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

スポーツ・レクリエーション活動の一部を、スポーツクラブ21はりまやコミュニティ委員会に委託するなど、住民との協働による実施を推進してきており、今後も、住民との協働による実施を推進していく。

番号 48

事業名	学校開放管理運営事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑫ 健康・体力づくりのための事業の充実	
	i 健康・体力づくり事業の振興	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	2 スポーツ活動の推進	生涯スポーツの振興
事業概要	小学校4校、中学校2校の体育施設を開放し、播磨町在住・在勤者を対象に住民のふれあい、健康増進、学習の場としての活用を図る。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	926	1,087	1,036
24年度の主な歳出節別内訳	報償費 535 需用費 71 使用料及び賃借料 166 原材料 264		

3. 活動指標

		22年度		23年度		24年度	
		利用団体数	開放使用日数	利用団体数	開放使用日数	利用団体数	開放使用日数
播磨小学校	グラウンド	2団体	207日	2団体	185日	2団体	194日
	体育館	5団体	235日	7団体	215日	7団体	220日
蓮池小学校	グラウンド	7団体	142日	8団体	116日	7団体	131日
	体育館	13団体	257日	16団体	274日	16団体	123日
播磨西小学校	グラウンド	1団体	96日	1団体	99日	1団体	97日
	体育館	7団体	222日	7団体	227日	7団体	233日
播磨南小学校	グラウンド	2団体	100日	2団体	97日	2団体	104日
	体育館	9団体	213日	10団体	241日	9団体	137日
播磨中学校	テニスコート	1団体	95日	1団体	78日	1団体	90日
	体育館	4団体	159日	4団体	134日	5団体	198日
	武道場	1団体	77日	2団体	80日	1団体	45日
播磨南中学校	体育館	3団体	152日	4団体	204日	5団体	201日
	武道場	5団体	319日	5団体	328日	5団体	334日

4. 成果指標等

事業の成果等について	学校施設が、地域住民のスポーツ活動やふれあい活動の場として利用され、健康づくりや仲間づくりに貢献している。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校教育に支障のない範囲で、学校施設を社会体育活動や社会教育活動に使用することは、学校教育法に規定されており妥当である。
	<b>【有効性】</b> 地域住民のスポーツ活動やふれあい活動の場として利用され、健康づくりや仲間づくりに役立っている。
	<b>【経済性・効率性】</b> 指定管理者による経済的かつ効率的な管理運営が行われている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

引き続き、子どもの健全育成を目指したスポーツ活動や地域住民の健康づくりの場として推進する。
---

番号 49

事業名	大中遺跡まつり事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	V 郷土文化の理解と活用		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	4 歴史的・文化的資源の保存と活用	播磨町の文化・歴史の発信	
事業概要	国指定史跡「大中遺跡」を会場に、全国でも類のない特色ある「まつり」を開催し、大中遺跡を保存・活用していこうとする態度を養うとともに、全国発信して地域・観光振興を図る。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	3,700	4,200	4,900
24年度の主な歳出節別内訳	負担金補助及び交付金 4,900		

3. 活動指標

①参加者数

	22年度	23年度	24年度
協力団体数	23団体	27団体	27団体
参加者数	25,000人	17,000人	35,000人

大中遺跡まつり (H24.10.27 前夜祭 考古博物館前広場 11.3 本番 大中遺跡公園にて実施)

構成 まつり実行委員会 45人

関係団体 (播磨南高校、兵庫大学、連合婦人会、シニアクラブ連合会、学校園、ことぶき大学、いずみ会、播磨町漁業組合、播磨町商工会、資料館ボランティア、中・高校生ボランティア等) 約 600人参加

県立考古博物館が、「考古博古代体験・秋まつり」を同時開催

4. 成果指標等

事業の成果等について	大中遺跡発見 50周年記念事業として歴代ヒメミコの登壇や「使者の行列」の新たな実施など、前夜祭「かがり火コンサート」と本祭りをさらに拡充した。特に、高校生や大学生などの若い世代の参画をはじめ協力団体の拡充により、出展内容や特設ステージが一層魅了あるものとなった。さらに、天候にも恵まれ、近隣はもとより遠方からも多数の来場者があった。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 歴史的資産である大中遺跡を活用した特色あるイベントであり、町の代表的なイベントとして定着し、毎年多くの参加者がある。
	<b>【有効性】</b> 平成24年度は3万人を超える来場者があり（平成23年度は雨天のため1万7千人）、住民に親しまれ喜ばれている。 また、実行委員会方式の運営は、住民主導のまつりに成りつつある。
	<b>【経済性・効率性】</b> 実行委員会を中心に各種団体をはじめ、地域の中・高校生や大学生など多数のボランティアの参画によって運営が行われている。
	<b>【その他】</b> 学校関係者のボランティアによる「子ども古代生活体験」は、人気が高く、有意義な催しとして定着している。

## 6. 今後の方向性等

今後は、全国でも類のない特色あるまつりとして充実・発展させていく。また、広報活動に重点を置き、「まつり」を全国発信していく。
--

番号50

事業名	地域スポーツクラブ支援事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	---------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑫ 健康・体力づくりのための事業の充実	
	ii NPO 法人スポーツクラブ 21 はりまへの支援	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	2 スポーツ活動の推進	スポーツクラブ 21 はりまの活動促進
事業概要	「青少年の健全育成」・「健康の増進、体力の向上」・「豊かなコミュニティづくり」を目的とした総合型地域スポーツクラブの育成を図る。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,300	1,235	1,235
24年度の主な歳出節別内訳	負担金補助及び交付金 1,235		

3. 活動指標

①「スポーツクラブ 21 はりま」会員数

	22年度	23年度	24年度
会員数	4,411人	4,239人	4,118人
男性	2,787人	2,719人	2,767人
女性	1,624人	1,520人	1,351人

会員種目 ソフトテニス・テニス、野球、サッカー、バレーボール、ハンドボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、剣道、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ、空手道、少林寺拳法、ソフトボール他

②主なスポーツ行事等の参加者数

項目	22年度	23年度	24年度	
補助委託	陸上競技記録会	227人	216人	雨天中止
	ながなわとび大会	197人	230人	308人
	ロードレース大会	1,446人	1,583人	1,427人
自主事業	子どもいきいきスポーツ教室	1,796人	1,804人	1,590人
	テニススクール	532人	640人	862人
	体操教室	503人	419人	392人

4. 成果指標等

事業の成果等について	少子高齢化の中、子どもスポーツ教室や初心者スポーツ教室等の開催により、小学生や主婦層を中心にスポーツ参加が増えている。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 健康や体力づくりに、スポーツの果たす役割は大きく、誰もが生涯にわたって、スポーツを楽しむことができる地域スポーツクラブを支援することは、生涯スポーツの振興に必要である。
	<b>【有効性】</b> いつでも、どこでも、誰でも、気軽に参加できるのが地域スポーツクラブであり、楽しみながらの健康づくりやスポーツの底辺拡大に貢献している。
	<b>【経済性・効率性】</b> 地域スポーツクラブは、本町スポーツ施設等の指定管理者として、自主運営に努めるとともに、施設の有効利用を促進させている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

スポーツ施設の充実と事業拡大を推進する。

番号 5 1

事業名	スポーツ振興基本計画策定事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	----------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑫ 健康・体力づくりのための事業の充実	
	i 健康・体力づくり事業の振興	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	2 スポーツ活動の推進	播磨町スポーツ振興計画の策定
事業概要	スポーツ基本法に基づき、本町の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額		1,322	0
24年度の主な歳出節別内訳			

3. 活動指標

策定経緯

年月日	取組内容
平成23年7月25日 ～平成24年3月6日	播磨町スポーツ振興基本計画検討委員会を5回開催する。
平成23年8月23日 ～平成24年2月29日	播磨町スポーツ振興基本計画検討委員会小委員会を4回開催する。
平成24年3月30日	「スポーツ基本計画」が策定される。
平成24年4月25日	教育委員会に播磨町スポーツ推進計画の策定状況を報告する。
平成24年5月17日	厚生教育常任委員会に播磨町スポーツ推進計画の策定状況を報告する。
平成24年12月	「兵庫県スポーツ推進計画」が策定される。
平成25年2月	播磨町スポーツ振興基本計画検討委員に「播磨町スポーツ推進計画(素案)」に関する意見を求める。
平成25年3月1日 ～平成25年3月14日	「播磨町スポーツ推進計画(素案)」に関するパブリックコメントを実施する。 <意見なし>
平成25年4月17日	教育委員会に「播磨町スポーツ推進計画(案)」に提案する。 <可決>

4. 成果指標等

事業の成果等について	スポーツ基本法に基づく、本町のスポーツ推進に関する計画(播磨町スポーツ推進計画)が作成できた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> スポーツ基本法第10条に基づく、地方スポーツ推進に関する計画を策定する事業である。
	<b>【有効性】</b> スポーツの推進に関する「基本理念」、「使命」、「目標」、「重点施策」などを示した計画を策定し、住民に公表することは、スポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むことのできる社会を創出するに当たって有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 今後10年間を通じて、本町の目指すべきスポーツ推進について、「目標」や「重点施策」などを明確にすることにより、施策を効果的に推進できる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

平成25年4月に策定した「播磨町スポーツ推進計画」に基づく、スポーツ推進に係る施策の検討及び推進を図る。

番号52

事業名	放課後子どもプラン事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	2 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細やかな取組を進める		
	(4) 家庭・学校園・地域社会の連携		
	⑨ 家庭・地域の教育力の向上		
	i 家庭や地域社会の教育力の向上		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	3 青少年の健全育成	家庭、学校、地域の連携による青少年の健全育成	
事業概要	放課後等に小学校施設等を活用して、子どもの安全・安心な活動場所を地域住民の参画を得て確保し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	930	858	850
24年度の主な歳出節別内訳	報酬	383	
	報償費	305	
	需用費	56	
	役務費	101	

3. 活動指標

「放課後子ども教室」実施状況

	22年度	23年度	24年度
参加者数	81人	135人	95人
開設日数	52日	44日	41日

4. 成果指標等

指標	指標の名称	参加者数(延べ人数)	説明	放課後に小学校施設等において、地域の方々の参画によりスポーツ・文化活動や地域住民との交流活動を年間40日行う。		
	指標の値	目標指票	22年度	23年度	24年度	備考
			951人	1373人	895人	

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 平成19年度から文部科学省の補助事業として、全国の市町村で実施されている事業である。
	<b>【有効性】</b> 放課後に安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動や交流活動を行うことにより、地域全体で子どもたちを見守り、育てる環境づくりが推進できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 多くのボランティアに支えられており、効率的に実施し、子どもの居場所が提供することができた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

運営委員会において、活動目標等について十分に話し合いを行い、指導者の共通理解をより一層深める。  
今後も、子どもや保護者のニーズの把握に努めるとともに、各社会教育施設や学童保育との連携を図って行く。

番号53

事業名	学校支援地域本部事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	2 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細やかな取組を進める		
	(4) 家庭・学校園・地域社会の連携		
	⑧ 地域ぐるみの子どもの育成		
	i 家庭や地域社会に開かれた学校園づくり		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	家庭や地域との連携による教育の推進	
事業概要	学校・家庭・地域が果たすべき教育的機能を十分に発揮することができるよう三者が緊密に連携し、学校の教育活動を支援するため、地域の人たちがボランティアとして学校の求めに応じた支援活動を行う。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	412	525
24年度の主な歳出節別内訳	報酬	51	
	報償費	259	
	需用費	99	
	役務費	114	

3. 活動指標

「学校支援ボランティア」の参加者数

	22年度	23年度	24年度
参加者数	—	216人	229人

4. 成果指標等

指標	指標の名称	参加者数(延べ人数)		説明		
	指標の値	目標指標	22年度	23年度	24年度	備考
			—	5,805人	6,895人	

主要通学路における登校時の見守りや校内の環境整備等、年間を通して行うとともに、体験学習等の指導を行うゲストティーチャーを学校の要請に応じて派遣する。

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 平成20年度から文部科学省の委託事業（23年度から補助事業）として、全国の市町村で実施されている事業である。
	<b>【有効性】</b> 地域住民が学校を支援する体制を構築することにより、教員が子どもと向かい合う時間の拡充を図ることができるとともに、地域ぐるみで子どもを育てる環境が整備され、地域の絆が強まり、地域の活性化に資することができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 多くのボランティアの活動により、教育活動の充実や学校と地域住民相互の連携強化ができています。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

学校の様々な活動を充実させるには地域住民による支援が不可欠であるため、補助の終了（25年度末）後も、ボランティアバンクの整備や有効活用を継続して行う。

番号 5 4

事業名	男女共同参画行動計画策定事業	担当 G	生涯学習グループ
-----	----------------	------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(6) 人権教育の推進	
	⑬ 地域学習の充実	
	iii 人権にかかわる課題と展望の明確化	
第4次総合計画での位置付け	目標4 つながりをお大切にするまち	1 人権をお大切にするまちをつくる
	1 人権・平和教育の推進	男女平等意識の高揚
事業概要	平成14年に策定した「播磨町男女共同参画行動計画」の計画期間が平成23年度で終了することや、少子高齢化や社会情勢の変化などに対応するために、「播磨町男女共同参画行動計画」の改定を行う。 計画の改定に当たり、平成23年度に学識経験者や関係団体の代表者等で組織する男女共同参画行動計画検討委員会等を設置し、計画内容の検討を行い、平成24年4月に「播磨町男女共同参画行動計画（改定）」を策定する。	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度
決 算 額	—	113	0
24年度の主な歳出節別内訳			

### 3. 活動指標

	組 織	委員会開催状況
播磨町男女共同参画行動計画検討委員会	大学教授 女性団体代表 商工会事務局長 PTA代表 人権関係団体代表 民生委員児童委員代表	検討委員会 第1回 平成24年2月24日 第2回 平成24年3月12日 第3回 平成24年3月27日

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	本町における男女共同参画社会の促進と施策を計画的に推進するための取り組むべき課題と実践すべき方向性を示すことができた。 特に、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(平成13年)」第2条第3項に基づき、配偶者からの暴力防止対策基本計画を策定し、配偶者等からのあらゆる暴力の根絶に向けた取り組むべき課題と実践すべき方向性を定めた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 男女共同参画社会基本法第14条に基づき、平成14年度に策定した「播磨町男女共同参画行動計画」の計画期間が平成23年度に終了することや社会経済情勢の変化に対応するために、計画の改定を行うものである。
	<b>【有効性】</b> 男女共同参画社会の推進に関する「基本理念」や「目標」、「課題」、「基本的方向」などを示した計画を策定し、住民に公表することは、男女共同参画社会の実現に当たって有効である。
	<b>【経済性・効率性】</b> 平成24年度から10年間を通じて目指すべき男女共同参画社会の推進に関する基本的方向や具体的な施策などを明確にすることにより、施策を効果的に推進できる。
	<b>【その他】</b> 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第2条の3第3項に基づく、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本的な計画(市町基本計画)」を含む計画である。

## 6. 今後の方向性等

「播磨町男女共同参画行動計画」をもとに、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進する。

番号55

事業名	家庭教育啓発事業	担当G	学校教育グループ
-----	----------	-----	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	2 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細かな取組を進める	
	(4) 家庭・学校園・地域社会の連携	
	⑨ 家庭・地域の教育力の向上	
	i 家庭や地域社会の教育力の向上	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる
	2 学校教育の充実	家庭や地域との連携による教育の推進
事業概要	家庭や地域の教育力を高め、青少年の健全育成を図るため、保育園児・幼稚園児・小学生及び中学生の保護者を対象に、家庭教育講演会の開催や家庭教育啓発資料を発行する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	274	312	321
24年度の主な歳出節別内訳	報償費 40 需用費 281		

3. 活動指標

①家庭教育学級数 (幼稚園)

	22年度	23年度	24年度
学級開設数	3学級	3学級	3学級

②教育講演会

	22年度	23年度	24年度
参加人数	144名	280名	266名

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>特色ある学校の取り組みを強化し、家庭の教育力向上に努めている。講演会及び家庭教育啓発資料の発行で、家庭教育の啓発を図っている。</p> <p>新規に「家庭教育の基礎は、子どもとしっかり向き合うことから」リーフレットを作成し、5歳児へ配布活用した。</p> <p>家庭学習の手引き「子どもたちのかがやく未来のために」一家庭でできること、「新入生の保護者のみなさまへドキドキワクワク小学校」リーフレットに関しては、内容の見直しを行い、一部修正したものを作成し、配布活用した。</p>
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 家庭での教育力が低下していることが問題になってきているため、このような事業で家庭の教育力を向上させる取組が必要である。
	<b>【有効性】</b> 家庭教育啓発資料を配布し、教育講演会を開催することで、家庭教育に対する意識を高める機会となっている。
	<b>【経済性・効率性】</b> 家庭教育啓発資料は、各保育園、幼稚園、小学校、中学校の職員が編集委員となり、保護者の実態に応じた資料作成ができています。新規作成ばかりをねらうのではなく、既存の資料を活用する方向で考え、内容を見直し修正したものを作成することで、効率性は高くなっています。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

社会全体で子どもを育てる視点からも、家庭の教育力を向上させることは不可欠であり、教育委員会として今後も学習機会及び情報提供する必要がある。今後も、講演会及び啓発活動を中心に引き続きこの事業を行う。また、地域住民の方に広く知っていただく必要から、広報はりまに「家庭教育」のコーナーを作り、毎月少しずつ記事を載せ、啓発していく。

番号56

事業名	公民館管理運営事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	1 生涯学習の充実	各年代の応じた学習機会の拡充
事業概要	住民が主体的に学習し、交流する文化活動等の拠点施設である中央公民館を指定管理者により、適正に管理運営する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	36,997	37,618	36,367
24年度の主な歳出節別内訳	役務費 86 委託料 36,281		

3. 活動指標

①公民館利用状況

	平成22年度	平成23年度	24年度	前年度の比較
利用件数(件)	6,216	5,993	5,714	95.3%
利用総数(人)	123,504	119,120	121,076	101.6%

4. 成果指標等

事業の成果等について	子どもから高齢者まで、誰もが集い、学べる場として、学習の内容の充実や施設の有効活用に努めた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 住民の自主的学習や文化活動の中核的拠点として設けた社会教育施設であり、施設設置者として、適切な管理運営を行わなければならない。
	<b>【有効性】</b> 本町における学習・文化活動等の拠点である中央公民館の快適性や利便性を高めるなど、施設の適切な管理運営を行うことにより、各種文化活動等の充実が期待できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 指定管理者制度による民間事業者の事業展開により、サービスの向上が図られている。
	<b>【その他】</b> 「町制施行50周年事業、播磨町ふるさと歴史カルタ大会」を開催する。

## 6. 今後の方向性等

指定管理者による民間事業者（NPO 法人）の能力を活用し施設機能の向上を期待する。  
今後は、住民利用者の要望や意見を取り入れるために、アンケート調査などを実施し、施設の有効活用を図る。

番号57

事業名	コミュニティセンター管理運営事業	担当G	生涯学習グループ
-----	------------------	-----	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標4 つながりをお大切にするまち	3 まちづくりに住民が参画できるまちをつくる
	1 地域活動の活性化・住民参加の推進	コミュニティセンターの充実・強化
事業概要	地域住民が主体的に学習し、交流する地域活動等の拠点施設であるコミュニティセンターを指定管理者により、適正に管理運営する。	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	47,422	47,560	47,675
24年度の主な歳出節別内訳	需用費 1,205 役務費 193 委託料 43,194 負担金補助及び交付金 3,083		

### 3. 活動指標

#### ①利用者数

	22年度	23年度	24年度
東部コミセン	6,703人	8,704人	10,291人
西部コミセン	21,494人	20,135人	20,542人
野添コミセン	45,939人	52,789人	55,171人
南部コミセン	26,797人	25,616人	25,911人
計	100,933人	107,244人	111,915人

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	それぞれのコミュニティ委員会において、町との連携を図りながら、適正な維持管理を行うとともに、自主的な事業を実施するなど地域活動の拠点として活用されている。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 地域のコミュニティづくりを推進するため、地域活動の拠点として設けた社会教育施設であり、施設設置者として、適切な管理運営を行わなければならない。
	<b>【有効性】</b> 地域活動の拠点であるコミュニティセンターの快適性や利便性を高めるなど、施設の適切な管理運営を行うことにより、地域活動の更なる活性化が期待できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 指定管理者制度による民間事業者の事業展開により、特色ある地域づくりが効果的に行われている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

各コミセン施設の維持補修・改修計画を見直し、安全管理に努める。

番号 58

事業名	人権教育啓発事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(6) 人権教育の推進	
	⑬ 地域学習の充実	
	iv 人権文化を育む地域づくりの推進	
第4次総合計画での位置付け	目標4 つながりをお大切にするまち	1 人権をお大切にするまちをつくる
	1 人権・平和教育の推進	学習活動・機会の充実
事業概要	①地域住民のあらゆる層にわたって、人権尊重の精神を徹底し、部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消に向けて主体的に取り組む人間の育成を図る。 ②いきいきフォーラムの実施、各種資料の作成・貸出、講演会、研修会、交流会など、多彩な実践活動を通じて人権尊重の精神の徹底を図る。	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	8,427	8,013	7,715
24年度の主な歳出節別内訳	報酬 1,199 需用費 2,191 委託料 726 負担金補助及び交付金 1,513		

### 3. 活動指標

①「共に生きよう ふれあいのまち」映画会・「心ふれあう 町民のつどい」講演会参加者数

	22年度	23年度	24年度
映画会(2回上映)	700人	600人	200人
講演会	250人	350人	150人

②コミセンのつどい参加者数

	22年度	23年度	24年度
東部コミセンのつどい	100人	53人	40人
南部コミセンのつどい	80人	40人	65人
野添コミセンのつどい	100人	80人	82人
西部コミセンのつどい	90人	75人	75人

③「人権啓発カレンダー」・冊子「人権教育のすすめ」の作成

- ・人権啓発資料編集委員会(7名) 年10回開催
- ・人権啓発カレンダー 例年11月24日に全戸配布
- ・人権教育のすすめ 例年4月24日に全戸配布

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発カレンダーは、季節感あふれるイラストを背景とし、温かなふれあいをテーマに作成した。また、人権標語やふれあい写真を掲載し、播磨町独自のものとなった。</li> <li>・人権教育のすすめは、テーマを個人から家族へ、家族からまちへと笑顔の輪が広がっていくように温かみのあるものとなった。特に身近な人権課題を取り上げ、住みよいまちづくりにつながった。</li> <li>・人権尊重の地域づくり事業は、地域の人権文化の定着に向け、各自治会の実態に応じて積極的に人権課題に取り組んだ。</li> </ul>
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 人権尊重「共に生きよう ふれあいのまち」宣言に則り、暮らしにぬくもりがかよいあう明るいまちづくりを推進する必要がある。
	<b>【有効性】</b> よりよい人間関係づくりを目的とした学習機会の提供や啓発資料の配布、リーダー養成講座等を通じて、人権意識が高まり、人権尊重のまちづくりへの参画・協働への基盤が培われる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 事前に資料を委員に配布し目を通してもらうことで、効率的に会議を行った。また、見積り比較で安価で契約するなど、経費縮減に努めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

引き続き、8月の「人権文化をすすめる町民運動推進強調月間」と12月の「人権週間」における全町的な取組や、地域における「いきいきフォーラム」や交流会等を実施する。

番号59

事業名	人権教育研究事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(6) 人権教育の推進	
	⑬ 地域学習の充実	
第4次総合計画での位置付け	iii 人権に関わる課題と展望の明確化	
	目標4 つながりをお大切にするまち	1 人権をお大切にするまちをつくる
	1 人権・平和教育の推進	人権教育の推進
事業概要	①人権教育における推進・啓発方法、学習内容、評価等について協議・研究する。 ②播磨町人権教育基本方針の趣旨を達成するための、より効果的な推進方法の工夫、学習内容の系統化、適切な評価を行う。	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	3,974	4,060	4,023
24年度の主な歳出節別内訳	報酬 68 委託料 600 負担金補助及び交付金 3,355		

### 3. 活動指標

①「播磨町人権・同和教育研究協議会」総会・研究大会参加者数(概数)

	22年度	23年度	24年度
総会(幹事)	150人	150人	150人
研究大会	500人	500人	500人

②「播磨町人権・同和教育研究協議会」理事会・研修会等の回数

	22年度	23年度	24年度
常任理事会	3回	3回	3回
理事会	3回	3回	3回
理事研修	1回	1回	1回
機関紙発行委員会	4回	4回	4回

※各推進委員会では、年間3～5回程度研修会を実施

③人権教育推進懇談会

- ・人権教育推進懇談会(5名) 年2回開催
- ・人権教育及び啓発のあり方について意見交換

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	兵人教や東人教の動向を踏まえ、播同協が積極的に事業を実施し、「いきいきフォーラム」を支援するなど人権文化があふれるまちづくりを目標に主体的な運営が行われた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	【妥当性】 播磨町人権教育基本方針に則り、あらゆる場を通して人権教育・啓発活動が必要である。
	【有効性】 推進母体となる播磨町人権・同和教育研究協議会の役割が明確にできる。
	【経済性・効率性】 播磨町人権・同和教育研究協議会補助金は、不用額を返還するなど経費削減に努めている。
	【その他】

## 6. 今後の方向性等

播磨町人権・同和教育研究協議会と連携し、住民主体による人権尊重のまちづくりを推進する。
---

番号 60

事業名	文化財保護啓発事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	V 郷土文化の理解と活用		
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	4 歴史的・文化的資源の保存と活用	文化財保護・愛護意識の啓発	
事業概要	愛宕塚古墳をはじめとする町内文化財の管理及び保護啓発を行い、郷土の文化財への関心を高め保護意識の高揚を図る。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	519	256	359
24年度の主な歳出節別内訳	需用費 7 委託料 247 負担金補助及び交付金 105		

3. 活動指標

①国指定文化財

区分	名称	数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)
史跡	大中遺跡	1	S42.6.22	大中1丁目	兵庫県

②県指定文化財

区分	名称	数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)
史跡	愛宕塚古墳	1	S57.3.26	北野添2丁目1	野添村財産区
建造物	阿閩神社本殿	4棟	H3.3.10	本荘4丁目11-21	阿閩神社

③播磨町指定文化財

区分	名称	数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)
建造物	石造宝篋印塔	1基	S57.3.10	大中2丁目6-12	善福寺
彫刻	木造薬師如来座像	1躯	S57.3.10	古宮816	古宮薬師堂
無形	古宮獅子舞	1	S57.3.10	古宮	古宮獅子保存会
絵画	釈迦十六善神像	1	H5.9.14	上野添2丁目1-1	圓滿寺
歴史資料	蓮花寺礼盤	1基	H10.3.11	本荘7丁目1-33	蓮花寺

考古資料	内行花文鏡片	1片	H10.3.11	大中1丁目1-2	町教育委員会
歴史資料	御月見日記	3冊	H10.3.11	大中1丁目1-2	町教育委員会
〃	ガラス板写真(ヒコとヴァンリード)	1枚	H11.10.13	大中1丁目1-2	町教育委員会
〃	版木「理趣経」等	5枚	H12.4.12	西野添3丁目8-16	無量壽院
天然記念物	二子住吉神社クスノキ	1本	H12.5.10	二子1	二子住吉神社
〃	播磨小学校クスノキ	1本	H12.5.10	宮北1丁目3-10	播磨町
歴史資料	播州加古郡新井記略石碑	1基	H17.8.10	古宮243-9	新井水利組合連合会
史跡	ジョセフ・ヒコによる両親と家族の墓	1基	H21.7.8	北本荘7丁目1-33	蓮花寺

#### 4. 成果指標等

指標 1	指標の名称	大中遺跡の活用(入園者数)		説明	大中遺跡の年間入園者数(人)	
	指標の値	目標指票	22年度		23年度	備考
			247,743人	223,330人	221,850人	

#### 5. 評価

事業評価 について	【妥当性】 貴重な歴史的資産である文化財は、将来にわたって良好な状態で保存していく必要がある。
	【有効性】 文化財をより良好な状態で保存するために役立っている。
	【経済性・効率性】 文化財の維持管理については、経費節減に努めている。
	【その他】

#### 6. 今後の方向性等

町の歴史的資産を良好な状態で管理・保存し、住民への保護啓発を継続して行う。
---------------------------------------

番号 61

事業名	文化財保護審議会運営事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑪ 生涯学習の機会の提供	
	V 郷土文化の理解と活用	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	4 歴史的・文化的資源の保存と活用	播磨町の文化・歴史の発信
事業概要	文化財保護法の規定に基づき、郷土の文化財の保存と活用に関する重要事項について調査・審議し、建議する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	78	78	69
23年度の主な歳出節別内訳	報酬 69		

3. 活動指標

①播磨町文化財保護審議会活動

	22年度	23年度	24年度
審議会開催回数	2回	2回	2回

4. 成果指標等

事業の成果等について	町指定文化財について継続調査を行うとともに、伝統文化の継承、文化財の保存及び普及啓発のあり方等について協議した。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 町内にある文化財の保存と活用に関し、教育委員会の諮問に応じ、審議及び調査研究を行うために、付属機関として文化財保護審議会をおくことが条例で規定されている。
	<b>【有効性】</b> 文化に関し高い識見を持つ委員による審議及び調査研究により、町内にある文化財の適切な保存や有効な活用を図ることができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 必要に応じて文化財保護審議会に諮問を行っており、効率的な運営を心がけている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

引き続き、文化財の調査・研究等の充実を図る。
------------------------

番号 6 2

事業名	まちな先覚者顕彰事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	V 郷土文化の理解と活用		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	4 歴史的・文化的資源の保存と活用	播磨町の文化・歴史の発信	
事業概要	郷土の先覚者に関わる歴史的文化遺産の保存や資料の調査・収集などを行い、住民に広報する。 特に、発見された小惑星にジョセフ・ヒコと命名するプロジェクトを進め、広く住民に周知するために命名記念講演会を開催する。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	100	95	421
24年度の主な歳出節別内訳	報償費 150 需用費 176 負担金補助及び交付金 95		

3. 活動指標

①ふるさとの先覚者

年度	22年度	23年度	24年度
会員数	78人	68人	69人

4. 成果指標等

指標	指標の名称	会員増加数		説明	該当年度会員数—前年度会員数		
		目標指票	22年度		23年度	24年度	備考
1	指標の数値		△20	△10	1		

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 郷土の先覚者を顕彰し、もって郷土文化の向上に資することが必要である。
	<b>【有効性】</b> 郷土の誇りである「ジョセフ・ヒコ」や「今里傳兵衛」等、まちの先覚者を全国に発信し顕彰することは、郷土文化の普及・啓発に貢献することにつながる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 播磨町ふるさとの先覚者顕彰会は、町からの補助金に加え、会費を徴収して運営している。
	<b>【その他】</b> 町制施行50周年記念企画展「新聞の父 ジョセフ・ヒコ展」、町制施行50周年記念「H e c o (彦) 星誕生記念講演会」を実施する。

## 6. 今後の方向性等

ジョセフ・ヒコや今里傳兵衛などに関わる調査・研究をはじめ案内・解説看板の設置を進める。  
また、会報誌やリーフレット及びホームページなどで情報発信に努めるとともに、他の顕彰会との交流を図る。

番号 63

事業名	図書館管理運営事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑪ 生涯学習の機会の提供	
	ii 芸術文化活動の推進	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	3 芸術・文化活動の推進	図書館の利用促進
事業概要	住民が求める知識・情報・教育等に対する資料を幅広く収集・整理・保存し、これらを住民に提供することによって、多くの利用を目指すとともに地域文化の向上に寄与する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	55,971	57,193	57,219
24年度の主な歳出節別内訳	需用費 927 役務費 81 委託料 55,000 使用料及び賃借料 1,211		

3. 活動指標

① 図書貸出状況

	22年度	23年度	24年度
年間貸出人数	89,593人	93,907人	91,586人
年間貸出冊数	357,638冊	340,466冊	327,891冊

4. 成果指標等

指標1	指標の名称	一人当たり貸出冊数	説明	貸出冊数÷人口 = 貸出密度 (点)		
		指標の数値	目標指票	22年度	23年度	24年度
		11.7	10.5	9.9	9.4	
指標2	指標の名称	蔵書数に対する貸出回転率	説明	貸出冊数÷蔵書数 = 蔵書回転率 (倍)		
	指標の数値	目標指票	22年度	23年度	24年度	備考
		3.0	2.75	2.62	2.49	

\* 一人当たり貸出冊数目標指票 400,000冊÷34,281人=11.7 (総合計画より)

\* 蔵書数に対する貸出回転率目標指票 400,000冊÷131,561冊=3.0 (総合計画より)

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 住民の教育と文化の発展に寄与するために設けた社会教育施設であり、設置者として、適切な管理運営を行わなければならない。
	<b>【有効性】</b> 図書や雑誌、視聴覚資料などの収集、保管を行い、利用者の知りたい情報や資料を提供することができる。また、育児で図書館利用が困難な方や障がい者、高齢者などへの宅配や代理購入事業など、多様なニーズに対応したサービスを提供している。
	<b>【経済性・効率性】</b> 指定管理者制度による民間事業者のノウハウを生かした、特色ある事業運営に努めている。 利用者満足度調査（利用者アンケート）を実施し、その結果を業務改善に活用している。
	<b>【その他】</b> 平成24年度の新たな事業として、6月に図書館開館30周年記念事業（兼町制施行50周年事業）「長谷川義史さん絵本ライブ」、12月に「お菓子の家をつくろう」、3月に「大人のための手作り会」を開催、また、平成23年度から始めた「ななつのおたのしみ会」、「ひよこのおはなし会」、「ぬいぐるみおとまり会」、「星空教室」も引き続き開催し、多くの参加者を得ている。

## 6. 今後の方向性等

指定管理者による民間事業者の能力を活用し、図書館サービスの向上などに取り組み、親しみやすく、気軽に利用できる図書館をめざすとともに、町全域、全層へのサービスを推進する。  
平成22年度から始まった「播磨町図書館を使った調べる学習コンクール」は、応募作品が大幅に増え、全国コンクールにおいても優秀な成績を収めており、今後更に充実、発展に努める。

番号64

事業名	図書館改修事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	---------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りを持ち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	ii 芸術文化活動の推進		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	3 芸術・文化活動の推進	図書館の利用促進	
事業概要	1階及び2階フロアのカーペットは、改修後12年以上経過し、経年による汚れや傷みが著しいことから、カーペットの張替えを実施し、利用者が快適に読書等のできる環境に整備する。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額			3,397
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 工事請負費	315 3,082	

3. 活動指標

改修状況

	22年度	23年度	24年度
主な改修内容			タイルカーペット張替 731.9 m <sup>2</sup>

4. 成果指標等

事業の成果等について	図書館の1階及び2階フロアのカーペット張替え工事を実施したことにより、施設の環境改善が図られ、利用者が快適に読書等のできる環境を提供することができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	【妥当性】 施設管理者として、施設及び設備の適正な管理を行わなければならない。
	【有効性】 カーペットの改修により、快適な環境が確保できる。
	【経済性・効率性】 工事請負業者の決定に当たっては、郵便入札に付し、経費削減に努めている。
	【その他】

## 6. 今後の方向性等

施設及び設備の改修は、緊急性のある場合を除き、計画的な実施に努める。
------------------------------------

番号 65

事業名	郷土資料館管理運営事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	V 郷土文化の理解と活用		
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	4 歴史的・文化的資源の保存と活用	播磨町の文化・歴史の発信	
事業概要	郷土の歴史、考古、民俗等に関する資料の収集、展示及び調査研究、知識の普及等に関する事業を行う。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	1,059	859	899
24年度の主な歳出節別内訳	需用費	567	
	役務費	127	
	委託料	110	

3. 活動指標

①利用状況

	22年度	23年度	24年度
開館日数	321日	317日	311日
利用者数	55,542人	43,506人	54,315人

4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>県立考古博物館と事業調整・連携を図るとともに、播磨町ふるさとの先覚者顕彰会や新聞資料研究会と共催で企画展「新聞の父 ジョセフ・ヒコ展」を開催し、展示期間としては過去最高(52日間 15,318人)を記録した。</p> <p>また、好評だった別府鉄道機関車の自由乗車は継続するなど、開放的で特色ある事業運営に努めた。</p>
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 大中遺跡をはじめ、ジョセフ・ヒコや今里傳兵衛など播磨町の歴史・文化を紹介する施設であり、施設設置者として、適切な管理運営を行わなければならない。
	<b>【有効性】</b> 常設展示に加え、特別展や歴史講座、古代体験学習などを開催し、子どもから高齢者までの各世代において、歴史や文化に対する親しみや理解が深まっている。
	<b>【経済性・効率性】</b> 経済的、効率的な館運営を行い、ランニングコスト等の削減に努めている。
	<b>【その他】</b> 5月の連休やお盆、トライやるウィーク期間の月曜休館日を開館し、住民の利便性を図っている。

## 6. 今後の方向性等

今後も歴史的文化遺産等について資料収集し、調査研究を行うなど事業の充実に努める。

番号 66

事業名	郷土資料館施設維持管理事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	---------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	4 歴史的・文化的資源の保存と活用	文化財の調査
事業概要	郷土資料館を安全で快適な施設として維持管理し、効率的かつ経済的に管理事務を行う。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	3,510	3,593	3,845
24年度の主な歳出節別内訳	需用費 1,520 役務費 174 委託料 1,647 備品購入費 448		

3. 活動指標

光熱水費の推移

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度
電気料金	1,174,138	1,287,441	1,256,560
水道料金	89,960	91,120	105,150

4. 成果指標等

事業の成果等について	施設の適切な管理により老朽化を遅らせるとともに、来館者にとって良好な施設となるよう学習環境の整備に努めた。 特に、学習机を新調するとともに、今里傳兵衛の「埋樋」修繕に際し LED 照明に変更した。 また、事務室の冷房効率を高めるためグリーンカーテンを設置した。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 郷土資料館の建物等を含め、適切な施設の維持管理に努める必要がある。
	<b>【有効性】</b> 適切な維持補修を実施することにより、建物及び収容品の良好な維持管理や耐用年数の増進、来館者の安全等を図ることができるとともに、将来の経費を節約することができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 緊急性や安全性の高いものから順次、計画的に取り組んでいる。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

5年から10年を目途に維持補修や改修計画を立て、快適な施設・安全管理に努める。

番号 67

事業名	特別展開催事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	---------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑪ 生涯学習の機会の提供		
	V 郷土文化の理解と活用		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	4 歴史的・文化的資源の保存と活用	播磨町の文化・歴史の発信	
事業概要	<p>大中遺跡をはじめとする文化財、郷土の偉人、地域の歴史、風土や文化等の中からテーマを選定し、特色ある展覧会を年1回開催する。</p> <p>本年度は、大中遺跡発見50周年の節目の年にあたり、県内の弥生時代の遺跡をテーマに展覧会を開催する。</p>		

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	624	753	636
24年度の主な歳出節別内訳	報償費	30	
	需用費	346	
	役務費	240	

### 3. 活動指標

特別展 平成24年度10月7日～12月2日 開催

	22年度	23年度	24年度
開催日数	44日	48日	49日
来館者数	10,483人	10,371人	13,565人
テーマ	“オポナカムラ”とその時代	播磨町ただ一つの古墳 愛宕塚古墳	ひょうご弥生のムラ 県内の国史跡の集落遺跡

※播磨町ふるさとの先覚者顕彰会と共催し、企画展「新聞の父 ジョセフ・ヒコ展」を開催  
(52日 15,318人)

### 4. 成果指標等

指標1	指標の名称	1日あたりの入館者数		説明		
	指標の数値	目標指票	22年度	23年度	24年度	備考
			238人	216人	276人	

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 常設展に加え、特別展を開催することによって、地域の文化財等を深く探求し、住民の方々に理解が得られる事業として位置づけている。
	<b>【有効性】</b> 大中遺跡や郷土の先覚者などにスポットをあて他特別展を開催することで、町の文化や歴史への理解を深め、郷土への誇りと愛着を高めることができる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 手作りの部分を多くするなど、経費節減に努めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

大中遺跡、別府鉄道、ジョセフ・ヒコ、今里傳兵衛を中心に郷土の歴史遺産を紹介する特別展を毎年開催し、郷土への愛着と誇りを育む。

番号 68

事業名	スポーツ施設管理事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑩ 生涯学習推進体制の確立		
	i 生涯学習推進体制の確立		
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	2 スポーツ活動の推進	スポーツ施設の適正な維持管理	
事業概要	総合体育館・新島球場・浜田球場・浜田テニスコート・望海公園球場・秋ヶ池運動場・はりまシーサイドドーム等のスポーツ施設の適正な管理運営行い、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	44,059	48,200	37,380
24年度の主な歳出節別内訳	需用費 2,121 役務費 208 委託料 34,017 使用料及び賃借料 1,034		

3. 活動指標

①利用人員

年度	22年度	23年度	24年度
大体育室	52,820人	52,605人	52,598人
中体育室	59,128人	49,238人	47,164人
ミーティング室	4,121人	3,266人	4,611人
トレーニング室	8,166人	7,663人	9,110人
新島球場	22,418人	19,135人	18,472人
浜田球場	40,537人	18,640人	17,806人
望海球場	24,141人	19,286人	27,590人
浜田テニスコート	15,439人	13,908人	18,942人
町民プール	8,444人	6,735人	休止
秋ヶ池運動場	23,785人	29,250人	29,429人
播磨シーサイドドーム	41,821人	52,781人	52,246人

4. 成果指標等

指標	指標の名称	スポーツ施設利用人員		全スポーツ施設の年間利用人員		
		目標指票	22年度	23年度	24年度	備考
1	指標の値	290,000人	300,820人	272,507人	277,968人	

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> スポーツ施設の整備・充実や適正な管理は、スポーツ振興に不可欠なものである。
	<b>【有効性】</b> スポーツ施設の適正な管理を図ることにより、安全かつ快適にスポーツ活動に親しむことができ、住民の健康づくりや仲間づくりに貢献している。
	<b>【経済性・効率性】</b> 指定管理者制度による民間事業者の事業展開により、経済的かつ効率的な施設管理が行われている。
	<b>【その他】</b> 町民プールの休止に伴い、スポーツ施設管理運営委託料を減額した。

## 6. 今後の方向性等

スポーツ施設の維持補修・改修計画を見直し、安全管理に努める。

番号 69

事業名	町民プール検討事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	2 スポーツ活動の推進	スポーツ施設の適正な維持管理
事業概要	町民プールは、開設後33年経過し、老朽化したプール本体を始め、ろ過装置や循環配管の改修に多額な費用が予想され、また、利用者数も大きく減少している状況から、町民プールに関する今後の方針を検討する。	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額			648
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 648		

### 3. 活動指標

町民プール検討庁内委員会の状況

	22年度	23年度	24年度
委員数	—	—	6人
委員会開催回数	—	—	3回

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	町民プールの今後のあり方について、町民プール検討庁内委員会が、住民アンケート調査や町民プールの現況調査の結果等を参考にして、検討を行い、町民プールの今後のあり方に関する報告書を作成した。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	【妥当性】 施設管理者として、老朽化した町民プールの今後の方針を決定しなければならない。
	【有効性】 施設の有効利用を検討するものである。
	【経済性・効率性】 施設の費用対効果を検討する事業である。
	【その他】

## 6. 今後の方向性等

学識経験者や住民の参画を得て、町民プールの存続又は廃止を検討し、その検討結果に基づく整備計画を策定する。

番号 70

事業名	総合体育館改修事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	-----------	--------	----------

### 1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	2 スポーツ活動の推進	スポーツ施設の適正な維持管理
事業概要	総合体育館を安全かつ安心して利用できる施設にするため、本館に屋外階段を設置する。また、老朽化が進む屋上防水の改修に係る設計業務を行う。	

### 2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	5,685
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 1,145 工事請負費 4,540		

### 3. 活動指標

	22年度	23年度	24年度
主な改修内容等	—	—	屋外階段1基設置 避難出口1箇所 誘導灯設置 防犯センサー設置 本館屋上防水工事設計

### 4. 成果指標等

事業の成果等について	<p>総合体育館本館屋外階段設置工事を実施したことにより、より一層、安全かつ安心して利用できる施設として、利用者に提供することができた。</p> <p>また、本館屋上防水の改修に係る設計業務を行うことにより、改修箇所及び改修費用等が把握できた。</p>
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 施設管理者として、施設及び設備の適正な管理を行わなければならない。
	<b>【有効性】</b> 屋外階段を設置することにより、安全・安心で快適な施設が確保できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 工事請負業者の決定に当たっては、郵便入札に付し、経費削減に努めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

施設及び設備の改修は、緊急性のある場合を除き、計画的な実施に努める。
------------------------------------

番号 71

事業名	新島球場改修事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	----------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りを持ち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる		
	(5) 生涯学習の推進		
	⑩ 生涯学習推進体制の確立		
	i 生涯学習推進体制の確立		
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる	
	2 スポーツ活動の推進	スポーツ施設の適正な維持管理	
事業概要	新島球場の内野フェンスは、前回改修から20年以上経過し、経年劣化による損傷が激しいため、内野フェンスの全面的な改修を実施し、利用者が安全かつ快適に利用できる施設に整備する。		

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	5,632
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 工事請負費	409 5,223	

3. 活動指標

	22年度	23年度	24年度
主な改修内容	—	—	1・3塁側既設フェンス撤去及びフェンス新設 203.9m スチール門扉改修

4. 成果指標等

事業の成果等について	新島球場のフェンス改修工事を実施したことにより、より一層、安全かつ快適に利用できる施設として、利用者に提供することができた。
------------	--

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 施設管理者として、施設及び設備の適正な管理を行わなければならない。
	<b>【有効性】</b> フェンスの改修により、安全・安心で快適な施設が確保できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 工事請負業者の決定に当たっては、郵便入札に付し、経費削減に努めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

施設及び設備の改修は、緊急性のある場合を除き、計画的な実施に努める。
------------------------------------

番号 72

事業名	浜田テニスコート改修事業	担当グループ	生涯学習グループ
-----	--------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	3 わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる	
	(5) 生涯学習の推進	
	⑩ 生涯学習推進体制の確立	
	i 生涯学習推進体制の確立	
第4次総合計画での位置付け	目標 1 豊かな心と人を育むまち	2 学べる環境の充実したまちをつくる
	2 スポーツ活動の推進	スポーツ施設の適正な維持管理
事業概要	浜田テニスコートの人工芝は、前回改修から10年以上経過し、経年による磨耗や破れた箇所が多く発生しており、全面的な張替えを実施し、利用者が安全かつ快適に利用できる施設に整備する。	

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	4,272
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 工事請負費	420 3,852	

3. 活動指標

	22年度	23年度	24年度
主な改修内容	—	—	人工芝張替 951.0 m <sup>2</sup>

4. 成果指標等

事業の成果等について	浜田テニスコートの人工芝張替工事を実施したことにより、より一層、安全かつ快適に利用できる施設として、利用者に提供することができた。
------------	---

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 施設管理者として、施設及び設備の適正な管理を行わなければならない。
	<b>【有効性】</b> 砂入り人工芝の改修により、安全・安心で快適な施設が確保できる。
	<b>【経済性・効率性】</b> 工事請負業者の決定に当たっては、郵便入札に付し、経費削減に努めている。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

施設及び設備の改修は、緊急性のある場合を除き、計画的な実施に努める。

番号 73

事業名	蓮池小学校屋内運動場大規模改 造事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	-----------------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
昭和50年3月の竣工以降、大規模な改修が行われていないことから各所に老朽化が進展し、日常の使用においても支障が生じていることから施設全体の改修を実施する。			

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	144,801
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 1,997 工事請負費 142,804		

3. 活動指標

主な事業内容	フローリング床張替 741㎡	扉取替 4箇所
	多目的便所新設 1箇所	既設便所改造 1箇所
	屋根全面張替 696㎡	照明灯改修 48箇所

4. 成果指標等

事業の成果等について	災害時における避難所としての機能を兼ね備えた、良好な学校施設が整備できた。
------------	---------------------------------------

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法では、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である。
	<b>【有効性】</b> 老朽化している体育館を改修することで、教育環境の改善が図られ健やかな成長を促進できるとともに、災害時における避難所としての利用価値も増進する。
	<b>【経済性・効率性】</b> 入札を実施し、最も安価な業者に発注することによって、適正な費用で実施できた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

長期間にわたり良好な学校施設環境を維持するため、維持管理を適切に行う。

番号74

事業名	播磨南小学校屋内運動場大規模 改造事業	担当グループ	教育総務グループ
-----	------------------------	--------	----------

1. 事業の概要等

教育振興基本計画での位置付け	1. 自立して社会で生きていく力を育てる		
	(3) 信頼される教育環境の構築		
第4次総合計画での位置付け	⑤ 教育環境の整備		
	i 心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の環境整備		
事業概要	基本目標 1 豊かな心と人を育むまち	1 学校教育の充実したまちをつくる	
	2 学校教育の充実	安全・安心で充実した教育環境の整備	
昭和58年3月の竣工以降、大規模な改修が行われていないことから各所に老朽化が進展し、日常の使用においても支障が生じていることから施設全体の改修を実施する。			

2. 事業費

(単位：千円)

区分	22年度	23年度	24年度
決算額	—	—	83,389
24年度の主な歳出節別内訳	委託料 1,968 工事請負費 81,421		

3. 活動指標

主な事業内容	フローリング床研磨塗装	799㎡	扉取替	2箇所
	多目的便所新設	1箇所	既設便所改造	1箇所
	屋根葺き材張替	1,121㎡	照明灯改修	42箇所

4. 成果指標等

事業の成果等について	災害時における避難所としての機能を兼ね備えた、良好な学校施設が整備できた。
------------	---------------------------------------

## 5. 評価

事業評価 について	<b>【妥当性】</b> 学校保健安全法では、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するために必要である。
	<b>【有効性】</b> 老朽化している体育館を改修することで、教育環境の改善が図られ健やかな成長を促進できるとともに、災害時における避難所としての利用価値も増進する。
	<b>【経済性・効率性】</b> 入札を実施し、最も安価な業者に発注することによって、適正な費用で実施できた。
	<b>【その他】</b>

## 6. 今後の方向性等

長期間にわたり良好な学校施設環境を維持するため、維持管理を適切に行う。

## IV 学識経験者（評価委員）の意見等

### 1. 総括的な意見

平成 24 年度は、「第 4 次播磨町総合計画」（平成 23 年度～32 年度）、「播磨町教育振興基本計画」（平成 23 年度～27 年度）の 2 年目にあたる年度であり、この両計画に即した事業がいよいよ本格的に実施されるべき年度であった。従って、今回（平成 24 年度実績）の点検評価では、対象とする 74 事業（継続 60 事業、新規 14 事業）が、上記「総合計画」「教育振興基本計画」に沿ってどの程度の成果を上げているかという視点を持つことが肝要であろう。

新規事業を通じては、「学校教育」「生涯学習」の両分野において、施設・設備の改修が推進されるなど、「学校教育の充実化」「学べる環境の充実化」に向け、積極的・計画的に業務が遂行されている。また、継続事業を通じては、若年教職員の増加に対応した「教育研究指導」の推進、小中学校における英語教育・情報教育の推進、町立図書館と連携した小中学校における読書活動の推進など、「学校教育の充実化」に向け、意欲的に業務が遂行されている。

「教育総務」「学校教育」「生涯学習」の 3 グループの連携により、上記「総合計画」の主要政策（「学校教育の充実化」「学べる環境の充実化」）、また、上記「教育振興基本計画」の基本方針を実現するべく、今回の 74 事業は、円滑に実施され、一定の成果を上げているものと評価することができよう。また、これら事業に対する教育委員会の自己点検評価も、概ね妥当な内容であると考える。

### 2. 個別事業についての意見

- ・「教科専門指導教諭配置事業」「子ども支援事業」「特別支援教育推進事業」などの実施を通じ、学校教育において「個に応じた指導の充実」（「第 4 次播磨町総合計画」）が進められている点は、高く評価できる。
- ・「幼稚園保健衛生事業」「小学校保健衛生事業」「中学校保健衛生事業」は、幼児・児童・生徒一人ひとりの健康状態を確認する重要な事業であるが、健康状態に問題のある幼児・児童・生徒については、単にその旨を家庭へ連絡するだけでなく、その後も継続して健康改善の指導助言を行うなど、健康診断実施後のフォロー体制を整備することが、今後の課題である。
- ・「小学校給食事業」「中学校給食事業」においては、食物アレルギー対策を講じ、食育を推進するなど、何よりも子どもの健康・安全を念頭に置いて事業を進めてもらいたい。

- ・「中学校給食事業」においては、この事業が順調に実施されていることを高く評価するが、給食費の徴収については、今後も滞納がないように努力してもらいたい。
- ・「小学校情報教育運営事業」「中学校情報教育運営事業」においては、電子黒板の活用などを含めた更なる工夫を検討してもらいたい。
- ・「小学校施設非構造部材等耐震対策事業」「播磨小学校受電設備改修事業」「中学校施設非構造部材等耐震対策事業」「播磨中学校受電設備改修事業」「幼稚園施設非構造部材等耐震対策事業」などは、子どもの「いのち」を守る事業であり、「安全・安心で充実した教育環境の整備」（「第4次播磨町総合計画」）に係わる重要な事業である。予算等との兼ね合いもあろうが、優先順位を決めながら、必要なことは確実に実施してもらいたい。
- ・「播磨南中学校屋内運動場大規模改造事業」においては、停電時でも使用できる多目的トイレを設置するなど、この屋内運動場が災害発生時に避難所として利用できる体制を整えており、先進的な事業として、高く評価することができる。
- ・『『トライやる・ウィーク』事業』においては、「生徒受け入れ依頼」交渉を新年度早々に開始することなどを通じ、協力事業所の十全な確保を実現してもらいたい。
- ・「家庭教育啓発事業」においては、講演会の開催、家庭教育啓発資料（とくに5歳児用啓発リーフレット）の発行が、どのような成果を上げているのか、一歩踏み込んだ検証を行い、その結果を踏まえながら、必要な啓発事業を推進してもらいたい。
- ・「大中遺跡まつり事業」においては、まつりの内容に工夫がこらされ、参加者数が倍増するなど、このまつりが播磨町の特色あるまつりとして年々盛大になっている点は、高く評価することができる。

学識経験者(評価委員)

加田平 靖 子	学校評議員
笹 田 哲 男	兵庫大学短期大学部保育科教授
松 井 昭 雄	社会教育委員長